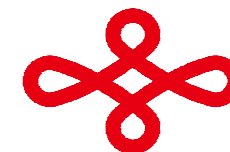


業務要求水準書

新たな官民連携手法（西尾市方式）による公共施設再配置第1次プロジェクト

募集要項【別添資料1】

【西尾市公共施設再配置実施計画 2014→2018】



愛知県西尾市

平成27年3月31日

目 次

第1章 全体の重要事項に関する説明・・・P1

- 1 本書の位置付け
- 2 本事業の概要及び要件
- 3 本事業で採用する事業スキーム
- 4 応募事業者に期待する事項
- 5 遵守すべき法律等
- 6 特別目的会社の組成及び契約期間中の維持
- 7 開発に関するモニタリング

第2章 買取業務に関する性能水準・・・P2

- 1 買取業務の目的
- 2 買取業務の内容
- 3 買取業務に要求する性能・機能
- 4 買取業務に期待する水準

第3章 施設の維持管理に関する性能水準・・・P3

- 1 維持管理に関する基本方針
- 2 建物維持管理に要求する性能・機能
- 3 建物維持管理に期待する水準
- 4 外構維持管理に要求する性能・機能
- 5 外構維持管理に期待する水準
- 6 備品維持管理に要求する性能・機能
- 7 備品維持管理に期待する水準

第4章 運営業務に関する性能水準・・・P4

- 1 運営業務に関する基本方針
- 2 運営業務に要求する機能・性能
- 3 運営業務に期待する水準

第5章 公的不動産の有効活用に関する性能水準・・・P5

- 1 公的不動産の有効活用に関する基本方針
- 2 公的不動産の有効活用に想定される視点
- 3 公的不動産の有効活用に期待する水準

第6章 独立採算業務（公共サービス）に関する性能水準・・・P5

- 1 独立採算業務に関する基本方針
- 2 独立採算業務に要求する要件
- 3 独立採算業務に期待する効果

第7章 独立採算事業（民間サービス）に関する制限・・・P6

- 1 独立採算事業に関する基本方針
- 2 独立採算事業に要求する要件
- 3 独立採算事業に期待する効果

第8章 公共施設再配置プロジェクトの業務要求水準一覧・・・P7

- 1 公共施設再配置プロジェクト01
- 2 公共施設再配置プロジェクト02
- 3 公共施設再配置プロジェクト03
- 4 公共施設再配置プロジェクト04
- 5 公共施設再配置プロジェクト08

第9章 その他・・・P36

- 1 秘密の保持等
- 2 本書に関する市の担当窓口（問合先）
- 3 業務要求水準書に係る添付書類等

第1章 全体の重要事項に関する説明

1 本書の位置付け

西尾市（以下「市」という。）は、「新たな官民連携手法（西尾市方式）による公共施設再配置第1次プロジェクト（以下「本事業」という。）」について、民間の資金、経営能力及び技術的能力の活用により、「新たなまちづくりの出発点」としての公共施設再配置を実現するため、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号。以下「PFI法」という。）に基づく事業として実施することを予定している。

本書は、市がPFI法第5条第3項の規定により平成26年11月29日に公表した本事業に関する実施方針に基づき、地域の公益性を重視した公共施設再配置を実施するために、市が応募事業者に期待するサービス水準の性能・機能等を性能発注として示すものである。

2 本事業の概要及び要件

本事業の概要及び事業範囲に関する一定の要件は、市が平成26年11月29日公表した実施方針を踏まえ、次の表のとおりとする。

公共施設再配置プロジェクト01	要件
多目的新生涯学習施設「きら市民交流センター（仮称）」	新設・運営・維持
コミュニティ公園体育館・管理棟	解体
吉良野外趣味活動施設体育館・管理棟	解体
吉良町公民館	解体・（資産運用）
吉良支所	改修・維持
吉良支所（車庫・書庫）	改修・用途変更
吉良支所（旧本庁舎・旧増築庁舎）	解体
吉良防災倉庫、車庫	解体・資産運用
旧上横須賀郵便局	解体・資産運用
横須賀老人憩の家ホール棟	解体

※（資産運用）とは、新施設の建設地として選択しなかった場合に限る。

公共施設再配置プロジェクト04	要件
資料館（歴史公園内）	改修・運営・維持
一色学びの館	改修・運営・維持
吉良歴史民俗資料館	用途変更
幡豆歴史民俗資料館	用途変更

公共施設再配置プロジェクト02	要件
防災機能を備えた多機能型市営住宅	新設・維持
一色支所（別館・会議棟・車庫）	解体・資産運用
一色老人福祉センター	解体・資産運用
子育て支援センターいっしき	改修・用途変更・維持
一色健康センター	改修・用途変更・運営・維持
一色町公民館	改修・運営・維持
一色学びの館	改修・運営・維持
旧海の歴史館	改修・用途変更・維持
対米住宅	解体・資産運用
巨海住宅	解体・資産運用

公共施設再配置プロジェクト08	要件
行政施設（8施設）	光熱水費の最適化（E S C O事業を含む）、法定・保守点検、施設維持管理マニュアルの作成
消防施設（8施設）	
学校教育施設（42施設）	
社会教育施設（14施設）	
文化施設（12施設）	
社会体育施設（7施設）	
子育て支援施設（28施設）	
社会福祉施設（2施設）	
高齢者福祉施設（16施設）	
医療保健施設（3施設）	
市営住宅（24施設）	
斎場（1施設）	
その他（1施設）	

公共施設再配置プロジェクト03	要件
吉良中学校	改修・維持
寺津小学校	改修・維持
寺津中学校	改修・維持
一色町体育館	改修・維持
一色B&G海洋センタープール	解体・企画提案
一色学校給食センター	解体・企画提案

◆要件に関する用語の定義

- ◇新設・・・新たに設計し建設する公共施設
- ◇改修・・・劣化した既存施設の機能回復及び機能向上
- ◇用途変更・・・既存施設の設置目的を他の目的に変更し、公益性を高めること
- ◇解体・・・既存施設を撤去し機能・性能を失わせること
- ◇運営・・・施設が持つ機能・性能を継続的に利用者に提供すること
- ◇維持・・・施設の機能・性能を保持すること
- ◇資産運用・・・市が所有する不動産を活用し、資源を効率的に増やすこと
- ◇企画提案・・・地域の公益性を高めるために、既存施設機能の新たな価値創造を提案し、継続して実行すること

3 本事業で採用する事業スキーム

本事業は、市が平成26年10月9日に公表した『実施方針公表のための事前方針・追加版』で示したサービスプロバイダ方式を採用し、民間経営資源活用原則のもと効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る。また、PFI手法の選択により、民間事業者の高い技術力や魅力的な公共空間の形成力の実現の場を創出する。さらに、市と応募事業者の双方の協議により最適なリスク分担を行い、本事業全体の最適化、効率化を図り市民の満足度を高めることを目的とする。

4 応募事業者に期待する事項

本事業は、複数の公共施設と公共空間（エリア）が存在するため、エリアを包括的に開発し、魅力的な未来形成を目指している。そこで、応募事業者には、市場原理に基づく有効かつ効率的な地域を創生するとともに、地域経済の好循環に繋がる事業の発掘と推進に期待する。また、資金調達は、原則、本事業が対象で主たる返済原資が本事業のキャッシュフローに依拠し、かつ担保は本事業の資産に限定するプロジェクトファイナンス（ノン・リコース又はリミテッド・リコース）を採用し、地元企業が参画し易くすることに期待する。

5 遵守すべき法律等

応募事業者は、本事業の実施に際し、各関係法令等を遵守するものとする。主な法令等は、次のとおりとする。ただし、その他、応募事業者の提案内容により遵守する法令等がある場合は、応募事業者のリスクにて対応するものとする。

(1) 消防法（昭和23年法律第186号） (2) 道路法（昭和27年法律第180号） (3) 水道法（昭和32年法律第177号） (4) 下水道法（昭和33年法律第79号） (5) 警備業法（昭和47年法律第117号） (6) 農地法（昭和27年法律第229号） (7) 建築業法（昭和24年法律第100号） (8) 駐車場法（昭和32年法律第106号） (9) 社会教育法（昭和24年法律第207号） (10) 学校教育法（昭和22年法律第26号） (11) 学校保健安全法（昭和33年法律第56号） (12) 電気事業法（昭和39年法律第170号） (13) 労働安全衛生法（昭和47年法律第57号） (14) 労働基準法（昭和22年法律第49号） (15) 地方自治法（昭和22年法律第67号） (16) 都市計画法（昭和43年法律第100号） (17) 道路交通法（昭和35年法律第105号） (18) 文化財保護法（昭和25年法律第214号） (19) 高圧ガス保安法（昭和26年法律第204号） (20) ガス事業法（昭和29年法律第51号） (21) 騒音規制法（昭和43年法律第98号） (22) 悪臭防止法（昭和46年法律第91号） (23) 振動規制法（昭和51年法律第64号） (24) 水質汚濁防止法（昭和45年法律第138号） (25) 食品衛生法（昭和22年法律第233号） (26) 大気汚染防止法（昭和43年法律第97号） (27) 宅地造成等規制法（昭和36年法律第191号） (28) 地球温暖化対策の推進に関する法律（平成10年法律第117号） (29) エネルギーの使用の合理化に関する法律（昭和54年法律第49号） (30) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号） (31) 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（昭和54年法律第20号） (32) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号） (33) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（平成18年法律第91号） (34) 個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号） (35) その他、本事業に関する関連法令等

6 特別目的会社の組成及び契約期間中の維持

本事業の実施を目的に市が契約締結する特別目的会社は、契約期間中、適切な運営が行える体制を維持し、安定した業務実施を行うものとする。また、特別目的会社は、市及び融資金融機関との連絡調整が適切に行えるプロジェクトマネジャーを構成企業の中から選任し、組織体制及び連絡体制を絶えず明確にしておくこととする。

7 開発に関するモニタリング

本事業は、特別目的会社が不動産開発企業（以下「開発企業」という。）より市が定める水準を満たした公共施設等を買取るため、特別目的会社は買取る不動産の適正さや整備水準を、開発企業による企画、設計、建設段階から買取るまでの期間、モニタリングを行うものとする。モニタリングの実施は、特別目的会社の組成予定者（構成企業と協力企業）と開発企業とが協議を行い、最適なモニタリング計画を提案するものとする。

第2章 買取業務に関する性能水準

1 買取業務の目的

本事業では、単なる施設整備を目的にせず、エリアマネジメントの観点から未来のまちづくりにつながる公共施設再配置を目的に企画、設計、建設等の整備を開発企業が行い、地域を主体に組成する特別目的会社を買取るものとする。

2 買取業務の内容

本事業では、第1章2に記載する公共施設再配置プロジェクトについて、応募事業者と開発企業との共同により、次の各号に掲げる開発不動産を買取るものとする。ただし、(1)以外の公共施設の改修、解体、用途変更、資産運用及び企画提案による整備は、地域経済の好循環を目的とする場合において買取以外にも、サービスプロバイダとなる特別目的会社を構成する構成企業または協力企業から直接、西尾市内に本社をおく第三者企業へ発注することができるものとする。

- (1) 新たに建築した公共施設
- (2) 既存の公共施設の改修（躯体の変更を伴う場合を含む）
- (3) 既存の公共施設の解体
- (4) 既存の公共施設の用途変更
- (5) 既存の公共施設の資産運用した施設
- (6) 既存の公共施設の機能の企画提案により整備された施設

3 買取業務に要求する性能・機能

応募事業者は、適正な買取業務のための品質チェック機能を備えるものとする。また、買取前と買取後のリスクを洗い出し、その対処方法を明らかにするものとする。ただし、特別目的会社を構成する構成企業又は協力企業から直接、西尾市内に本社をおく第三者企業へ発注する場合の改修、解体、用途変更、資産運用及び企画提案による施設に関するリスクは、直接発注する構成企業または協力企業が負うものとする。

4 買取業務に期待する水準

買取る開発不動産は、「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、建物の長寿命化に有効なスケルトン・インフィル方式など将来のLCCとLCCO²の低減やメンテナンスビリティの向上に工夫されたものとする。また、色彩や材質等については、周辺の景観に配慮した施工がされているものとする。さらに、買取る開発不動産は、未来の環境面、経済面、教育面、コミュニティ面、定住促進面等新たなまちづくりの視点において、どのような効果を発揮するのかを検証したものとする。

第3章 施設の維持管理に関する性能水準

1 維持管理に関する基本方針

応募事業者は、買い取った開発不動産及び既存の対象不動産を、契約終了時までの期間、適切に維持管理を行うものとする。適切な維持管理は、全ての不動産について利用者の安全、環境保全、災害等に対する防災対策、防犯に対する対策、施設の長期的な活用策、さらには地域との連携に配慮した維持管理を行う。そのため、市民ニーズの反映と応募事業者の創意工夫を取入れ、PFI事業の特徴である長期間にわたるリスク分担を最大限に活かして業務を遂行するものとする。

- (1) 開発不動産は、買取後から契約終了時までの間に渡って維持管理を行う。
- (2) 既存の対象不動産は、契約に定める日より契約終了時までの間に渡って維持管理を行う。

2 建物維持管理に要求する性能・機能

応募事業者は、契約書に定められた業務に関する書類（計画書や報告書等）を適切に作成し、定められた期日に提出するものとする。また、必要に応じて市から提出または報告の依頼がある場合は、速やかに作成し、提出するものとする。

主な業務の範囲： 建物維持管理業務、設備維持管理業務、環境衛生管理業務、警備業務、その他当該管理を実施する上で必要な関連業務

3 建物維持管理に期待する水準

応募事業者は、対象不動産の円滑な運営の確保や利便性及び安全性の維持を目的に定期的な点検業務等を行い、不動産の性能・機能を適切に維持するものとする。また、不動産のトータルLCCの観点から、適切な予防保全を行うことで、低廉かつ効率的な維持コストを目指すものとする。なお、新設施設のみについては、小規模修繕及び大規模修繕業務も本事業の対象とする。

4 外構維持管理に要求する性能・機能

応募事業者は、契約書に定められた業務に関する書類（計画書や報告書等）を適切に作成し、定められた期日に提出するものとする。また、必要に応じて市から提出または報告の依頼がある場合は、速やかに作成し、提出するものとする。

主な対象施設： 屋外スペース、駐輪場、駐車場、植栽、サイン、その他当該管理を実施する上で必要な外構施設

5 外構維持管理に期待する水準

応募事業者は、外構（屋外施設）について、安全・景観（美観）機能を適切な状態に保つように維持を行うものとする。また、植栽等は、施設利用者に安らぎを与え、必要に応じて視線の交錯を避けることにも配慮を行うこと。

6 備品維持管理に要求する性能・機能

運営業務を担う新設施設の備品及び既存施設において引き継ぐ備品については、その施設の動線計画や備品の使用目的から適切な個数、設置個所、機能、品質を提案すること。

7 備品維持管理に期待する水準

備品の維持管理は、対象施設ごとに適正な配置や備品の使用目的に応じた性能を維持すること。また、個々の備品が使用、活用が出来ない期間を無くす工夫をすること。

第4章 運営業務に関する性能水準

1 運営業務に関する基本方針

本事業における公共施設の運営業務は、新たなまちづくりの出発点である公共施設再配置の重要な事項と捉え、将来における地域の環境変化がもたらす多様な市民ニーズに、迅速かつ効率的に応え、より高度な公共サービスを継続的かつ発展的に提供していくことを目的とする。また、運営業務は、地域の公益性に資する要素として、民間のノウハウを最大限に活かし、地域経済の好循環を目指すものとする。

2 運営業務に要求する機能・性能

本事業においては、応募事業者は次の対象施設の運営業務を行う。

- (1) 多目的新生涯学習施設「きら市民交流センター（仮称）」…公共施設再配置プロジェクト01
- (2) いっしき市民交流広場（仮称）：一色健康センター、一色町公民館、一色学びの館（図書館機能）…公共施設再配置プロジェクト02

- (3) 学校給食センター機能…公共施設再配置プロジェクト03
- (4) 資料館（歴史公園内）、一色学びの館（資料館機能）…公共施設再配置プロジェクト04

3 運營業務に期待する水準

応募事業者は、各施設の利用者の多様なニーズに対し、きめ細やかに応える魅力的な運営を積極的に行い、幅広い世代の人々が集う賑わいのある空間を形成すること。また、応募事業者は、これまで各施設を利用しない市民が、積極的に立ち寄りたくなる良質な公共サービスを経営的な視点で実施するとともに、応募事業者が自ら運営を行う民間サービスとの連携を図り、広く開放された誰もが利用しやすい施設を目指すものとする。なお、学校給食センター機能に関する運營業務に期待する水準は、より良質な学校給食を安定的かつ効果的に供給することはもちろんのこと、子どもたちの正しい食習慣の形成及び食育並びに地産地消の推進に資する創意工夫を目指すものとする。

第5章 公的不動産の有効活用に関する性能水準

1 公的不動産の有効活用に関する基本方針

市が現在、所有する公的不動産は、多種多様化、同一機能の重複化、老朽化、減価償却の導入、さらには「公共施設等総合管理計画」や都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」などの策定といった新たな課題を有している。そのため、市民、地域の各種団体、地元企業との連携により、公的不動産がより効率的、効果的に利活用でき、さらに市が所有する公的不動産を戦略的な観点から行政経営活動に活かすことを目的とする。

2 公的不動産の有効活用に想定される視点

本事業は、PFI事業により市の今後の人口、地域経済、不動産の利用低下等の変化に対応するため、次の視点で行政経営に活かすものとする。

- (1) 市の公的不動産の保有量の見直し
- (2) 資金調達に関する支払利息、減価償却費等の財政コストの負担軽減
- (3) 光熱水費、人件費、修繕費、保険料等の維持管理コストの負担軽減
- (4) 低利用のまま保持することで生じる機会損失を改善する官民双方の資産運用
- (5) 地域の公益性の向上を目的とした民間が所有する不動産の利活用

3 公的不動産の有効活用に期待する水準

市が現在、所有する公的不動産の多くは、財産性が弱く、そのため施設の機能の維持、更新の殆どを市税で賄っていることから、本事業では、市が所有する公的不動産を活用した市の財政負担を軽減する資産運用の企画、提案を行い実行すること。また、本事業は、市が所有する公的不動産を資本市場と結び付けることも合わせて企画提案されることを期待する。

第6章 独立採算業務（公共サービス）に関する性能水準

1 独立採算業務（公共サービス）に関する基本方針

応募事業者が提案する独立採算業務（公共サービス）は、本事業に関する運營業務のうち、応募事業者が自ら行うことにより、公共サービスの質の向上や地域の公益性を高めかつ継続的に維持できることを目的とする。また、独立採算業務（公共サービス）は、合わせて市民が自ら活動できる機会や場の創出を目指すものとする。

2 独立採算業務（公共サービス）に要求する要件

応募事業者が提案する独立採算業務（公共サービス）は、事業実施に起因するリスクを応募事業者自らの責任において負うものとするが、合理的な理由がある場合は、協議により市との負担割合を決定する。また、応募事業者は、社会変化等によるリスクの度合いを定量的に可視化する仕組みを構築し、検証するとともに、原則、独立採算業務（公共サービス）を3年間は継続して実施するものとする。

3 独立採算業務（公共サービス）に期待する効果

応募事業者が提案する独立採算業務（公共サービス）は、次の視点から効果を期待する。

- (1) 低利用施設の高利用化
- (2) 公共サービス水準の向上
- (3) 地域経済循環の活性化
- (4) 市の財政負担の軽減
- (5) 長期的かつ安定的な公共サービスの提供
- (6) 市民ニーズへの対応

第7章 独立採算事業（民間サービス）に関する制限

1 独立採算事業（民間サービス）に関する基本方針

応募事業者が自ら実施する独立採算事業（民間サービス）は、地域の公益性の向上を目指し、市民生活に役立つ空間形成を目的に演出するものとする。また、将来にわたり集客力や回遊性の向上、並びに定住促進や地域の賑わい創出に寄与し、周辺地域との調和に資することを目指すものとする。

2 独立採算事業（民間サービス）に要求する要件

本事業は、応募事業者が自ら実施する独立採算事業（民間サービス）において発生すると想定されるリスク及び実施中に発生したリスクを切り離し、応募事業者が自ら実施する独立採算事業に起因するリスクを応募事業者自らの責任において負担するものとする。また、本事業で整備する公共施設と合築する場合は、施設の所有、維持管理等の区分と権限を明確に分けるものとする。さらに、市の土地及び公共施設を使用する場合は、市と協議の上、借地権の設定及び賃料を決定するものとする。

3 独立採算事業（民間サービス）に期待する効果

応募事業者が自ら実施する独立採算事業（民間サービス）は、次の視点から効果を期待する。

- (1) 本事業で実施する公共サービス及び既存の公共サービスの有効性及び効率性の相乗的な向上
- (2) 地域経済循環の活性化
- (3) 地域企業の活性化
- (4) 地域の社会起業家の発掘及び育成
- (5) 地域ブランディングによる価値の向上
- (6) 市民ニーズへの対応

第8章 公共施設再配置プロジェクトの業務要求水準一覧

応募事業者は再配置プロジェクト01及び02の「市民ニーズ」欄については、本書の参考資料1である市民ワークショップ「にしお未来まちづくり塾」の振返記録を参考とすること。また、本事業については「機能・構成・デザイン」を基に「業務要求水準（性能）」を考慮したより効率的かつ効果的な提案を求めるものとする。なお、応募事業者の更なる意匠を発揮することを目的に代替案を提案することができることとし、本質やコンセプトを変えない形での応募者独自の代替案（ヴァリエントビッド）も可能とする。

公共施設再配置プロジェクト01 吉良地区の多目的新生涯学習施設整備事業		プロジェクトの基礎水準		
		市民ニーズ	機能・構成・デザイン	業務要求水準（性能）
多目的新生涯学習施設 きら市民交流センター（仮称）	<ul style="list-style-type: none"> ●新設 新設場所 ○コミュニティ公園 ○吉良中学校 ○吉良支所（吉良町公民館） ●運営 ●維持 	<p><安心・安全の拠点> 地震や津波などの災害に備えられる拠点を明確化させる。単なる防災拠点ではなく、普段からの市民の集う場となるようデザインすることで、賑わいと安心の拠点とする。</p> <p><市民が憩える拠点> 体育館の利用者が多い吉良地区は、運動をするという利用目的だけでなく、新しい施設を利用する人が、リラックスできる場所になっていくことが必要。学んで遊べる野外施設というコンセプトのもと、カフェのようなお洒落な空間で音楽を楽しめたり、飲食可能なオープンスペースがあるだけで、体を動かし、体を休める居心地の良さを実現させる。</p> <p><コミュニティの拠点> 吉良の人たちは、おやじの会や消防団のようなボランティア・自主活動がさかんである。こうしたコミュニティ活動が活発だからこそ、人々がゆるやかに集まる拠点を創ることが重要である。</p> <p>また、世代間交流を生みだし、違う世代の人達との関わりで、街の暮らしを豊かにすることが必要である。</p> <p><利便性のある拠点> 多様な人々が利用しやすいためにも、バス交通などと連携し、利便性の高い施設にしてほしい。</p> <p>また、利用時間なども、使い勝手がいい形にしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●新設（共通） ア) 多目的新生涯学習施設を3つの市有地を活用して建設すること <ul style="list-style-type: none"> ・1施設集約型あるいは分散立地型を問わない ※コミュニティ公園に新施設を建設する場合は都市公園法、同施行令、西尾市都市公園条例、同施行規則等を遵守すること。施設用途等の制約がある。また、公園利用者の駐車場を確保すること イ) 施設規模に応じた駐車場等を確保すること 	<ul style="list-style-type: none"> ●新設（共通） ア) 吉良地区にふさわしい誰もが気軽に使えるワクワク感いっぱいの市民交流の場としての多目的新生涯学習施設を最適な立地場所に整備すること <ul style="list-style-type: none"> ・特に地域の中高生の居場所としても快適に利用できるように機能を有すること イ) 天候の影響を最小限に利用者が施設を利用できる駐車場等を配置すること <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全性を確保する目的から、歩行者と車両との動線を明確に分離すること
			<ul style="list-style-type: none"> ●新設（居室機能） ア) 大アリーナ…1,600㎡程度の多目的アリーナで、バスケットボール2面、フットサル2面、バレーボール2面で使える機能を有すること <ul style="list-style-type: none"> ・小アリーナ…400㎡程度の多目的アリーナで、バレーボール1面で使える機能を有すること ・貸室（レンタルスペース）…150㎡から30㎡までの部屋の大きさが変わる5つの貸室機能で計300㎡程度。5つのうち一つは和室（60㎡程度）、一つは防音機能を備えた音楽室（60㎡程度）として利用できること ・ロビー…250㎡程度で学習室機能を有すること ・収納庫…200㎡程度 ・公共サービス部門については上記を含めて通路、トイレなどを含めて延床面 	<ul style="list-style-type: none"> ●新設（居室機能） ア) 各アリーナでスポーツ用具等（卓球台20台程度を含む）を安全かつ適切に収納できるスペースを確保すること <ul style="list-style-type: none"> ・利用者に快適な環境を提供するために設置される空調設備も含めて、自然エネルギーの活用やLED等の採用による省エネ、蓄エネ、創エネに配慮した整備を行うこと ・貸室（レンタルスペース）は会議から軽運動までに対応した設備を整えること。また、茶道が行えるような最適な空間や音が外に漏れないような貸室にすることで利用向上に務める提案を行うこと ・ロビーは世代の交流の場として快適に過ごせる環境とすること ・施設に必要な収納品が適切に保管使用できるスペースを確保すること

		<p><きら市民交流センター（仮称）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「何か楽しいことをしている！」という場所であることが最重要。安心安全は当然。目的を持った楽しさもあり、かつ安全な場所に。そして年齢性別問わず多くの人を使いやすいように。→人がたくさん集まるところは、自然と安心安全・利便性が求められてくるし、そうなっていくのかもしれない！ ・吉良は歴史に誇りを持っている人が多いから、歴史をアピール出来るようにしたい！ ・現在の吉良町公民館のように料理教室と喫茶ルームが横にある状態が活かされて欲しい。 ・体育館にもステージが欲しい。発表会とかをするときピアノだけは運べないから、ピアノがあると嬉しい。 ・必要最低限の駐車場は必須。また、車も多いが、公共交通も大事にしたい。→官民連携！ 	<p>積 5,000 m²を上限とする</p> <p>イ) 吉良野外趣味活動施設・管理棟で現在、活動している任意団体「吉良スポーツクラブ」の打合スペース（週に2、3回で4名程度が利用。スタッフのロッカーは必要）を確保すること</p> <p>ウ) 市が年10回程度、集団検診（特定健診、がん検診等）の会場として本施設を利用できるように次の条件の会場を確保すること</p> <p>条件①健診等を行うロビーなどの広いスペース(300 m²程度)</p> <p>条件②乳がん検診の待合、視触診のための個室(個室から屋外の検診車に出られるような出入口が必要)及び男女別のトイレ</p> <p>条件③出入口が2箇所必要(乳がんと肺がん・胃がんを分離)で、出入口付近に大型検診車3台分の設置スペース</p> <p>条件④健診用に約100台の駐車スペース</p> <p>●運営・維持</p> <p>ア) 特別目的会社は多目的新生涯学習施設及びその外構部分を運営すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レンタルスペース（貸室）の管理、来館者案内業務、備品物品管理、予約受付業務、利用統計管理、利用料徴収業務、ごみ処理など運営全般を担うこと ・ 建物の維持管理業務、光熱水費等の支払いなどを行う ・ 利用料については現行の料金制度に準拠したものとする ・ 社会教育法に縛られない施設とする <p>イ) 新施設で特別目的会社は次の事業を行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ教室（現状：アロマ・ヨガ、フィットネスフラ、エアロビクスなど10教室8～10回開催、募集人員15～20人、受講料1回300円、1回につき講師料5,900円） ・ 生涯学習講座（現状：趣味講座、教養講座、語学講座、親子講座等約40講座、延べ約150回、受講料1回200円、1回につき講師料5,900円） ・ 吉良中学校で一般開放される特別教室 	<p>イ) 吉良スポーツクラブの打合スペースは会議室あるいは事務室の一角でもよい。</p> <p>●運営・維持</p> <p>ア) 施設内では利用者の利便性が向上するような情報通信環境を整えること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レンタルスペース（貸室）の利用率を向上させること ・ 施設の開館時間や利用時間区分などについては市民の利便性向上に資するよう考えること ・ 最適な建物の維持管理に努めること ・ プロジェクト02の「いっしき市民交流広場（仮称）」と協調して運営すること <p>イ) スポーツ教室や生涯学習講座では地元の人気講師の継続を念頭に新たな参加者の開拓と現状の実績以上を目指すこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ教室は「スポーツで元気になるまち西尾～すべての人にスポーツの喜びを～」を基本理念とした「西尾市スポーツ推進計画（平成26年3月策定）」の推進に則した事業化を行うこと ・ 生涯学習講座は「みつけよう 生涯学ぶ喜びを わがまち西尾で」を基本理念とした「西尾市生涯学習推進計画（平成25年4月策定）」の推進に則した事業化を行
--	--	---	--	--

			<p>の受付管理などのマネジメントも行うこと</p> <p>ウ) 施設予約システムについては「あいち共同利用施設予約システム」を特別目的会社が利用するか独自のシステムで対応すること</p> <p>エ) 新施設の名称は仮称であるため、正式名称をつけること</p> <p>オ) 独立採算事業（民間サービス）として飲食機能、喫茶機能または物販機能を設けること。</p> <p>カ) 独立採算事業（民間サービス）として中央体育館のトレーニング室（126.57㎡）程度のスポーツジム機能を設けること。</p>	<p>うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 吉良中学校の特別教室の一般開放は学校側が求めるセキュリティ対策と一般開放後の特別教室備品類の管理に支障が出ないようにすること <p>ウ) 利用者の利便性を高める予約システムにより迅速な受付処理事務及び適切な利用料徴収が行える環境を整備し利用率向上を目指すこと</p> <p>エ) 新施設の名称についてはネーミングライツ等を活用した市の財政負担軽減につながる提案をすること。ただし、ネーミングライツ等による市の財政負担軽減につながる企画を提案しない場合は別途、市民に愛着が生まれるような施設名称を提案すること</p> <p>カ) 若い世代から高齢者までが幅広く健康増進を図られる施設とすること。設置場所は本施設だけでなく全プロジェクトの対象施設からエリアマネジメントの視点で選定して良い。</p>
<p>○コミュニティ公園体育館・管理棟</p> <p>○吉良野外趣味活動施設体育館・管理棟</p> <p>○吉良町公民館</p>	<p>解体（3施設）</p> <p>※吉良町公民館に新設しない場合の解体跡地は資産運用を図ること</p>		<p>●解体（3施設共通）</p> <p>ア) 解体時の音、匂い、粉じん等の発生を防ぐ対策を特別目的会社の責任において行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の備品類は特別目的会社との協議により譲渡するものとする。 <p>●解体（コミュニティ公園体育館・管理棟）</p> <p>ア) コミュニティ公園体育館・管理棟を解体すること</p> <p>●解体（吉良野外趣味活動施設体育館・管理棟）</p> <p>ア) 吉良野外趣味活動施設体育館・管理棟は平成30年度以降に解体すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 吉良野外趣味活動施設体育館・管理棟の跡地は駐車場として使用できるよう 	<p>●解体（3施設共通）</p> <p>ア) 解体跡地は更地として安全に配慮すること</p> <p>●解体（コミュニティ公園体育館・管理棟）</p> <p>ア) コミュニティ公園に新施設を建設しない場合の跡地は公園としての有益な整備を行うこと</p> <p>イ) 災害時のオープンスペースとしてグラウンド等の空地を確保すること</p> <p>●解体（吉良野外趣味活動施設体育館・管理棟）</p> <p>ア) 解体跡地については吉良保健センター利用者にとって利便性の高い駐車場として整備すること</p>

			<p>にすること</p> <p>●解体（吉良町公民館）</p> <p>ア) 吉良町公民館を解体すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉良町公民館は3階の天井に封じ込めたアスベストがある ・吉良支所に電気や水道を供給しているため解体までに切り替え工事を行っておくこと 	<p>●解体（吉良町公民館）</p> <p>ア) 吉良町公民館の解体に伴うアスベスト除去時などは周辺環境に配慮する。吉良支所に電気水道の供給変更時に支所サービスの影響が極力少なくなるように配慮すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名鉄線沿線の解体工事になるため鉄道交通に支障をきたさないように留意すること <p>●資産運用（吉良町公民館）</p> <p>ア) 跡地の利活用は地域の課題解決に貢献できることを目的とする</p>
<p>吉良支所</p>	<p>改修・維持</p>		<p>●改修</p> <p>ア) 吉良支所の電気、水道設備は、吉良町公民館から供給されているため吉良町公民館を解体するまでに吉良支所への電気、水道設備の切替えを行うこと</p> <p>イ) 照明・PC・機械室の対応の自家発電装置を設置すること（8時間対応）</p> <p>ウ) 吉良支所が使用している旧本庁舎の電話交換機は耐用年数が過ぎているため、旧本庁舎解体前に新設（現在は、電話3回線、ファクス1回線、電話機25台使用している）。新電話交換機は、常時空調設備が必要であるため吉良支所2階に設ける支所機械室（20㎡相当）に設置すること</p> <p>また、夜間・閉庁時に、警備員室と切替ができる機器をお願いします。</p> <p>エ) 支所2階には職員更衣室・職員休憩室・機械室を設置すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員更衣室…男・女（各10程度のロッカー）の更衣室 ・職員休憩室…20名程度が昼食やミーティングができる場所 ・機械室（20㎡相当）…24時間空調。電話交換機、無線設備、放送設備、震度計表示など。電話交換機は特別目的会 	<p>●改修</p> <p>ア) 吉良支所の改修工事中は支所サービスへの影響が極力少なくなることと周辺住民等に対する配慮に努めること</p> <p>イ) 災害時の停電時に支所サービスが自動停止しないような最適な電力バックアップシステムを構築すること</p> <p>ウ) 吉良支所では市民窓口として電話交換が適切に行うことができLCCの軽減につながる光ネットワーク（西尾市役所本庁舎で使用している無料回線）を活用したシステムについて提案すること。</p> <p>エ) 職員が休息を目的に居心地よく過ごせる空間を創出すること</p>

			<p>社が新設するが、それ以外の設備の移設は市が行う</p> <p>オ) 吉良支所1階に夜間及び休日業務のために警備員室と利用者兼職員用トイレを設けること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備員室…常駐1人で仮眠室・洗面所を設置。夜間及び休日の閉庁時に各種事務手続き等を行うため対面式の窓口を設置すること ・利用者兼職員用トイレ…男女及び多目的トイレ（おむつ替え台あり）を設置すること <p>カ) 職員駐車場（25台分）は道を挟んだ駐車場を利用する。支所周辺には利用者用30台分（うち障がい者用2台）・公用車5台・2トンダンプ4台、屋根付き駐輪場5台分を確保すること</p> <p>キ) 吉良支所周辺の桜並木を活用して敷地内に次のものを配置するポケットパーク機能を設けること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初代吉良町長・柵木定四郎像 ・吉良ライオンズクラブ寄贈のクスノキ3本 ・郵便ポスト（ゆうちょが移設） ・電話ボックス（NTTが移設） <p>ク) 吉良支所1階のボイラーは撤去すること</p> <p>ケ) 敷地内に建っている看板塔を撤去すること</p> <p>コ) オンライン関係の電算端末の引込工事とJ-ALERTなど無線設備の移転や情報系ネットワーク回線の引き込みについては市が行い、市が管理する。</p> <p>●維持</p> <p>ア) 公共施設再配置プロジェクト08のとおり</p> <p>※支所機能はこれまでどおり市が行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備業務については公共施設再配置プロジェクト08の中で対応する 	<p>オ) 夜間・休日に市民が利用しやすい警備員室を配置すること。利用者が快適に使用できるトイレを整備すること。新設あるいは支所施設の改築を問わない</p> <p>カ) 道路から駐車場・駐輪場、そこから吉良支所の入口（玄関）までの動線を分かりやすくすること。支所利用者が利用しやすい駐車場の配置にするとともに公用車の動線と交錯しないように留意すること</p> <p>キ) ポケットパーク機能は周辺住民が親しめる飲料程度のサービスが受けられるくつろぎ空間として創造すること</p>
<p>吉良支所（車庫・書庫）</p>	<p>改修・用途変更</p>		<p>●改修・用途変更</p> <p>ア) 添付資料1のとおり在所管課ごとの倉</p>	<p>●改修・用途変更</p> <p>ア) 主として防災及び水防倉庫機能として利</p>

			庫に用途変更するため転倒防止施工の棚を設置すること。2階には備蓄食料を収納するため通気口を設置し、ガラス窓に遮光フィルム等を貼ること	用するため、災害時に収納資材の出し入れがしやすいような工夫をすること。災害時の備蓄食料が外気温並みに適切に保存保管されるように整備をすること
吉良支所（旧本庁舎）	解体		<p>●解体</p> <p>ア) 吉良支所（旧本庁舎）を解体すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体時の音、匂い、粉じん等の発生を防ぐ対策を特別目的会社の責任において行うこと <p>イ) 既設のパラボラアンテナについては、事前に愛知県が処分する。J-ALERTについては新たな代替アンテナを愛知県が設置し、市が移設する。</p>	<p>●解体</p> <p>ア) 解体跡地は更地として安全に配慮すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名鉄線沿線の解体工事になるため鉄道交通に支障をきたさないように留意すること
吉良支所(旧増築庁舎)	解体		<p>●解体</p> <p>ア) 吉良支所（旧増築庁舎）を解体すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体時の音、匂い、粉じん等の発生を防ぐ対策を特別目的会社の責任において行うこと <p>イ) 解体前に屋上のエアコン室外機を吉良支所に移設すること。ただし、無線設備、放送設備の移設は市が行う</p>	<p>●解体</p> <p>ア) 解体跡地は更地として安全に配慮すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名鉄線沿線の解体工事になるため鉄道交通に支障をきたさないように留意すること
吉良防災倉庫 車庫	解体・資産運用		<p>●解体</p> <p>ア) 吉良防災倉庫と車庫を解体すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体時の音、匂い、粉じん等の発生を防ぐ対策を特別目的会社の責任において行うこと 	<p>●解体</p> <p>ア) 解体跡地は更地として安全に配慮すること</p> <p>●資産運用</p> <p>ア) 跡地の利活用は地域の課題解決に貢献できることを目的とする</p>
旧上横須賀郵便局	解体・資産運用		<p>●解体</p> <p>ア) 旧上横須賀郵便局を解体すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体時の音、匂い、粉じん等の発生を防ぐ対策を特別目的会社の責任において行うこと ・解体前に市が収納品を整理する ・敷地内のカーブミラー、掲示板、ポストの移動については調整中 	<p>●解体</p> <p>ア) 解体跡地は更地として安全に配慮すること</p> <p>●資産運用</p> <p>ア) 跡地の利活用は隣接の消防団詰所との一体利用も踏まえて地域の課題解決に貢献できることを目的とする</p>
横須賀老人憩の家 ホール棟	解体		<p>●解体</p> <p>ア) 横須賀老人憩の家ホール棟を解体すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体時の音、匂い、粉じん等の発生を防ぐ対策を特別目的会社の責任において行うこと 	<p>●解体</p> <p>ア) 施設の一部を解体するため、解体後は既存部分が従来どおり使用できるようにすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体跡地について除草等のメンテナンスを要しないようにすること

公共施設再配置プロジェクト02 一色地区の新公共空間創造事業		プロジェクトの基礎水準		
		市民ニーズ	機能・構成・デザイン	業務要求水準（性能）
防災機能を備えた多機能型 市営住宅	<p>●新設・維持 新設場所</p> <p>○一色支所（別館・会議棟・前野ちびっこ広場含む）</p> <p>○一色老人福祉センター</p>	<p><安心・安全の拠点> 地震などの災害に備えられる拠点を明確化させる。単なる防災拠点ではなく、普段から市民の集う場となるようデザインすることで、賑わいと安心を両立する拠点とする。</p> <p><健康・学びの拠点> 公民館・健康センター・学びの館などが連携し、一色で体を動かし、楽しく学ぶ活動や施設が連携されることで、施設そのものの魅力が増し、多くの市民が活用できる場になる。また、一色には病院が少ないので、医療機関にも入ってほしい。</p> <p><地域ブランドの拠点> 一色といえば三河一色大提灯まつりに象徴される大提灯がある。現在、学びの館に展示されている大提灯は、展示されている状態だが、大提灯の良さを身近に伝えられる仕掛けが必要である。また、大提灯だけでなく、ウナギのぼりなどの一色独特の文化を伝える工夫を施設の中に創って欲しい。</p> <p><コミュニティの拠点> 子どもたち、障害者、若者世代、お年寄りに至るまで、一色といえばここ！となるような多世代の人々が集まり易く、それぞれの世代の交流が生まれる拠点となる場が必要。また、その中から世代を超えたコミュニティが育まれることが理想である。</p> <p><利便性があり、使いやすい拠点> 現状の施設では、駐車場不足や駅からの距離など、移動におけるハードルが多く感じられている。そのため、その場所に行きたくなるような交通インフラ（移動サービ</p>	<p>●新設（市営住宅）</p> <p>ア）公営住宅法、公営住宅等整備基準および、西尾市市営住宅関連条例、規則等に基づく市営住宅を2つの市有地を活用して90戸程度建設すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1戸の床面積 2DK：55㎡程度（単身者用） 3DK：65㎡程度（家族用） ・部屋はフローリング中心とし、畳仕様は2DKはなし、3DKは1室程度、襖は最小限とする ・入居者の集会室機能と地域住民に対する貸室機能を有するフリースペース（200㎡程度）を整備すること ・全室バリアフリーで、エレベーター設置。各部屋のドアポストの他、入居者の出入口に、集合ポスト、掲示板（お知らせ版）、またゴミステーション（1か所）を設置する <p>イ）入居者の駐車場は1戸に1台、来客用5台程度及び駐輪場を整備すること。フリースペース利用者用の駐車場も確保すること</p> <p>ウ）一色支所の現在の津波一時待避所としての機能（600人）と同等以上の機能を確保すること</p> <p>エ）特別目的会社は申請者として社会資本整備総合交付金・公営住宅等整備事業補助金を活用すること</p>	<p>●新設（市営住宅）</p> <p>ア）人口減少が進む一色地区における生産年齢人口を中心とした定住化促進対策の基盤としての市営住宅を整備すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリースペースは従来の入居者専用の集会施設のみではなく広く地域住民にも多目的で活用できるように企画提案をすること ・社会の動きに対応した各世代にとって定住しやすい快適で魅力ある居住環境を整備すること <p>イ）入居者の駐車場については、有料化が検討されるため、入居者以外の駐車場と区別し入居者以外は使用できないようにすること</p> <p>ウ）一色地区は海拔0m以下の多い地区であり地域住民の防災意識が非常に高いため、津波や浸水対策について地域住民が安心できるような防災機能の企画提案をすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に屋上へ迅速に避難できる工夫をし、かつ、平時のセキュリティも考慮すること

		<p>ス) のアイデアが必要。</p> <p>〈いっしき市民交流広場 (仮称)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に役立つ安心安全面を強調したい! ・場所が分かりにくいから看板があったら良いのではないか。→合併した他のエリアの人も利用しやすい施設になると良い。 ・今のままじゃ駐車場は足りないからもっと完備して欲しい。 ・ペDESTリアンデッキは防災にも、イベントにも、交流にも、必要! ・現在夜が暗過ぎるため、上からではなくフットライトが必要。 ・フットサルが出来る場所が欲しい。 ・バスの時間が早いため、もっと遅くまであるべき。 ・緑の森の中に、楽しみながら健康増進出来る、芸術が散りばめられる、そんな場所にしたい。 ・大提灯を守る。 ・受付には美男美女を! 外から来る人への案内が足りないし、英語の標識も必要かもしれない。 <p>〈一色地区定住促進マネジメント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心安全は大前提であり最重要! そして安心安全の拠点は一箇所だけではなくて分散型でなくてはならない。 ・定住促進は必要かもしれないが支所跡地以外でも検討すべき→しかし一色支所の場所に病院や高齢者の居場所、子供たちの居場所、が出来るようにまちの中心のコミュニティ拠点をつくることで、まち全体が盛り上がっていくのではないか。 ・子どもの病院などもとても苦勞するし、子育て世代が楽な環境、過ごし易い空間 	<p>●新設 (民間サービス)</p> <p>ア) 超高齢化社会に対応する高齢者福祉サービスを独立採算事業として整備すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備するのは、通所介護サービス機能で「指定居宅介護サービス等の人員、設備及び運営に関する基準」を満たし、規模は定員 15 名程度とする。事業主体の要件として「西尾市内に事務所を置く通所介護事業の実績のある社会福祉法人であること。社会福祉法人による利用者負担軽減制度により利用軽減及び基準該当障害福祉サービスを実施するとともに佐久島在住者の利用について努力すること」とする <p>●新設 (公園)</p> <p>ア) 一色支所敷地内の前野ちびっ子広場 (児童遊園機能) については、現状 (面積: 520.60 m²、設置遊具: 滑り台、ブランコ、鉄棒、ジャングルジム、はん登棒、スプリング遊具 2 基) を下回らないものを設置すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設遊具は経年劣化のため移設には不適合であるため、すべて撤去すること <p>●維持 (市営住宅・外構)</p> <p>ア) 新設される市営住宅及び外構部分 (駐車場・公園) については、特定目的会社が一括管理すること。ただし、市営住宅の光熱水費の共同利用分及び駐車場料金については特別目的会社は</p>	<p>●新設 (民間サービス)</p> <p>ア) 高齢化が進む一色地区において必要とされる通所介護サービス機能など的高齢者福祉サービスを独立採算事業として定住促進に資する形で企画提案すること</p> <p>イ) 若い世代への定住促進につながる民間サービスの独立採算事業を企画提案すること</p> <p>●新設 (公園)</p> <p>ア) 公園の設置場所は利用者の安全を考慮し人目につきやすく、交通量の多い道路に面していない場所に整備すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の利用対象者は、市営住宅入居者のみでなく地域住民に開かれ、市民が集まる機能を備えること ・一色支所周辺は「西尾市緑の基本計画」に緑化重点地区として位置づけられており、地域の緑地の確保及び子どもの安全・安心な遊び場を確保するため、当該区域内における公園機能を存続させ、緑の拠点として整備すること <p>●維持 (市営住宅・外構)</p> <p>ア) 市営住宅と外構部分 (駐車場・公園) については快適な居住空間にふさわしい安全性に配慮した維持管理を行うこと</p>
--	--	--	---	---

<p>一色支所（支所別館、会議棟、車庫を含む）</p>	<p>●解体・資産運用</p>	<p>づくりをして欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通網が良くないので、コミュニティバスのようなものがあると良いだろう。 ・一色の彫刻家など、芸術や伝統を生かした取組みを！ 	<p>管理しない</p> <p>●解体</p> <p>ア) 一色支所（支所別館、会議棟、車庫を含む）を解体すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一色支所の支所別館の解体跡地と一色伊那跨 55-1、55-2、103 の一部及び 105 の一部、前野新田 33-3、35 及び 90-1 の一部は、消防署一色分署の用地とし、職員及び来客用駐車場 20 台分程度と東方向に出動可能となる大型緊急車両用通路を整備すること ・解体時の音、匂い、粉じん等の発生を防ぐ対策を特別目的会社の責任において行うこと ・支所別館 1 階に設置されている BDF（天ぷら廃油燃料化施設）は廃棄すること <p>イ) 一色支所会議棟の北に設置されている防災資機材庫（軽鉄プレハブ：12 m²）については一色地区内の避難所等に移設すること</p>	<p>●解体</p> <p>ア) 解体跡地は更地として安全に配慮すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一色支所 2 階に H26 に設置した天井吊下型空調 4 基は移設可能 <p>●資産運用</p> <p>ア) 開発余剰地がある場合は、定住促進に資する資産運用を企画提案すること</p>
<p>一色老人福祉センター</p>	<p>●解体・資産運用</p>		<p>●解体</p> <p>ア) 一色老人福祉センターを解体すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体時の音、匂い、粉じん等の発生を防ぐ対策を特別目的会社の責任において行うこと <p>イ) 緑の少ない地域のため、記念樹等については、可能な限り残すことを希望するが、その後の用途によっては伐採しても可とする</p>	<p>●解体</p> <p>ア) 解体跡地は更地として安全に配慮すること</p> <p>●資産運用</p> <p>ア) 開発余剰地がある場合は、定住促進に資する資産運用を企画提案すること</p>

<p>子育て支援センターいっしき</p>	<p>●改修・用途変更</p>		<p>●改修・用途変更</p> <p>ア) 子育て支援センターいっしき機能を一色健康センター2階に移転するため、療育センターとして改修、用途変更すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 療育機能として、現在の保育室1～4を「遊戯室(100㎡程度)、おやつ室(40㎡程度)、調理室(25㎡程度)、事務室(35㎡程度)」に改修すること 子ども用トイレについては、幼児用洋式3、立ち小便器1、手洗い洗面1(蛇口3)、洗濯機置き場を改修すること 倉庫(道具の収納)として保育室6を使用 職員用トイレをリニューアルすること <p>イ) 園庭の遊具を撤廃し、駐車場として利用する</p> <p>ウ) 療育センターの情報系ネットワーク回線の引き込みについては市が行い、市が管理する</p> <p>※療育センターの運営は、市が行う</p> <p>●維持</p> <p>ア) 公共施設再配置プロジェクト08のとおり</p>	<p>●改修・用途変更</p> <p>ア) 幼児の療育施設に合った内装として、幼児の行動範囲を制限できる仕様を企画提案すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の安全安心を確保できる配慮をすること 未利用となる現行の遊戯室(100㎡)については療育センターに支障の出ない範囲での貸室等地域に貢献する有効活用の企画提案を行うこと <p>イ) 駐車場機能については、安全な動線等を確保すること</p>
<p>一色健康センター</p>	<p>●改修・用途変更・運営・維持</p>		<p>●改修・用途変更</p> <p>【施設全体】</p> <p>ア) 屋上の防水対策を行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのガラスに飛散防止対策を行うこと ブラインドカーテンの修繕及び取替えを行うこと 1階のホールについては、機能を存続する場合に限り、利用者が使いやすいように放送設備・舞台照明設備の改修を行うこと <p>イ) 一色健康センターに子育て支援センターいっしき機能及び一色老人福祉センター機能を移転し、かつ、集団健診、乳幼児相談、健康相談を実施できるス</p>	<p>●改修・用途変更</p> <p>【施設全体】</p> <p>ア) 施設全体のバリアフリー化を進め、幅広い世代の利用者が安全安心に多様に使用できる快適な公共空間とすること</p>

いっしき市民交流広場(仮称)
 地域文化広場に隣接している3施設群を利便性の高い新たな公共空間として再生する包括マネジメントにより生き生きと元気に暮らすことのできるまちづくりの出発点につなげていくこと。プロジェクト01の「きら市民交流センター(仮称)」と協調して運営すること

			<p>ペースを確保するために必要な改修を行うこと</p> <p>ウ) 1階のホールと会議室、2階の栄養指導室と和室は貸室として使用（改修不要）</p> <p>エ) 市が年10回程度、集団検診（特定健診、がん検診等）の会場として本施設を利用できるように次の条件の会場を確保すること</p> <p>条件①健診等を行うロビーなどの広いスペース（300㎡程度）</p> <p>条件②乳がん検診の待合、視触診のための個室（個室から屋外の検診車に出られるような出入口が必要）及び男女別のトイレ</p> <p>条件③出入口が2箇所必要（乳がんと肺がん・胃がんを分離）で、出入口付近に大型検診車3台分の設置スペース</p> <p>条件④健診用に約100台の駐車スペース</p> <p>オ) 市が毎月2回行う親子20～30組が参加する乳幼児相談の会場（約50㎡）を確保すること。土足厳禁とする</p> <p>【子育て支援センター機能】</p> <p>ア) 2階に子育て支援センター機能を移転すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室については現行の事務室兼相談室1室と給湯室を使用する（現行のパーテーションは継続利用する） ・事務室スペースは、職員2人、開設時間は月～金の9：00～17：00、平均利用者30人/日に対応できること ・2階トイレに子ども用トイレを2つ以上設置すること ・子どもが階段、エレベーターを使えないように柵を2階に設置すること ・2階は子育て支援センターのスペースとする 	<p>【子育て支援センター機能】</p> <p>ア) 未就園児の親子が安全安心に利用できる快適な空間とすること</p>
--	--	--	---	--

			<ul style="list-style-type: none"> ・2階の歯科診療台及び検査室内の冷蔵庫を撤去すること 【老人福祉センター機能】 ア) 一色老人福祉センターから、①地域包括支援センター ②訪問介護（ホームヘルパー） ③居宅介護支援（ケアマネージャー） ④西尾市社会福祉協議会一色支所の機能を1階部分に移転するために必要な改修を行うこと ・事務室スペースは職員18人、OAデスク2台、開設時間は月～金の8:30～17:15、平均利用者33人/日に対応すること イ) 正面玄関付近のロビー付近で日当たりの良いスペースで囲碁などが無料でできる「高齢者の憩の場」を確保すること ・1階のトイレを、高齢者や障害者が使えるように洋式化及びバリアフリー化を図ること。ただし、男女それぞれの和式は1つ残すこと ●運営 ア) 一色健康センター及びその外構部分については特別目的会社が「いっしき市民交流広場（仮称）」の包括マネジメント事業として運営すること ・施設のレンタルスペース（貸室）のマネジメント・来館者案内業務・備品物品管理・予約受付業務・利用統計管理・利用料徴収業務・ごみ処理、光熱水費等の支払いなど運営全般を担うこと ・正面玄関付近の「高齢者の憩の場」の管理運営も行う ・レンタルスペース（貸室）の利用料については現行の料金制度に準拠したものとする イ) 子育て支援センター機能の運営は市が 	<ul style="list-style-type: none"> 【老人福祉センター機能】 ア) 高齢者が安全安心に利用できる快適な空間とすること ●運営 ア) いっしき市民交流広場（仮称）の一施設として幅広い世代に積極的に利用できるように運営を心がけること ・「高齢者の憩の場」については、高齢者の健康の増進、介護予防、教養の向上、レクリエーション等を行い、一色地区の高齢者が健康で明るい生活を営め、子どもや障害者との交流など多様な運営の展開について企画提案すること ・施設の開館時間や利用時間区分などについては市民の利便性向上に資するよう考えること
--	--	--	---	---

			<p>行う</p> <p>ウ) 老人福祉センター機能のうち①は市が西尾市社会福祉協議会に業務委託し、②③④は西尾市社会福祉協議会が自らの業務として運営する</p> <p>エ) 3つの公共施設群の名称と本施設の名称をつけること</p> <p>●維持</p> <p>ア) 公共施設再配置プロジェクト 08 のとおり</p>	<p>エ) いっしき市民交流広場（仮称）の3施設群と単一施設の名称については、ネーミングライツ等を活用した市の財政負担軽減につながる提案をすること。ただし、ネーミングライツ等による市の財政負担軽減につながる企画を提案しない場合は別途、市民に愛着が生まれるような施設名称を提案すること</p>
<p>一色町公民館</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; background-color: #4682B4; color: white; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>いっしき市民交流広場（仮称） 地域文化広場に隣接している3施設群を利便性の高い新たな公共空間として再生する包括マネジメントにより生き生きと元気に暮らすことのできるまちづくりの出発点につなげていくこと。プロジェクト 01 の「きら市民交流センター（仮称）」と協調して運営すること</p> </div>	<p>●改修・運営・維持</p>		<p>●改修（全館）</p> <p>ア) 内装と外壁の改修、屋上・雨水排水設備の改修（雨漏り防止）を行うこと。詳細は次のとおりとする</p> <p>【1階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室等：内壁、天井、床／支所機能移転に伴う改修 ・トイレ：床／入口段差解消、大便器をシャワートイレに改修 <p>【2階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体研修室 1：床／畳及び下地撤去の上、Pタイル等に変更 ・団体研修室 2：天井／廊下側シミ解消 ・視聴覚室：内壁／北窓下側シミ解消。防音効果を高めること。映写室の機材を撤去すること ・工作室：床／緑の塗装剥がれ修復 ・トイレ：床／入口段差解消 <p>【3階】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議室 1：電気スイッチが避難器具庫にあり、わかりにくいことの解消。 ・会議室 4：内壁／北窓下側クロス等はがれ解消 ・会議室 5：天井／張替え ・会議室 6：内壁／クロスの隙間修復 	<p>●改修（全館）</p> <p>ア) 「いっしき市民交流広場（仮称）」のコア施設として生涯学習機能を拡大して幅広い世代の利用者が安全安心に使用できる快適な公共空間としてリノベーションを図ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内では市民の利便性が向上するような情報通信環境を整えること

			<ul style="list-style-type: none"> ・ロビー：天井／雨漏り数箇所修復 ・トイレ：床／入口段差解消 <p>イ) 館内（非常・業務用）放送設備の更新</p> <p>ウ) 館内の非常灯の更新（約 150 個。一色地域交流センター分を含む）</p> <p>エ) 隣接の一色地域交流センターの多目的トイレに一色支所のオストメイトを移設するか新規のオストメイトを設置するかコストを比較検討し、安価な方を整備すること</p> <p>オ) 西尾一色地域文化協会の事務局のスペースを確保し、事務局の専用机 1、打合テーブル 1、書類保管庫 3（高さ 90 cm×幅 90 cm×奥行 40 cm）を配置</p> <p>●改修（一色支所機能）</p> <p>ア) 1 階事務室に一色支所機能（職員 18 人）を空調配管の調整を伴うオープンスペースに移転させるための次のコンバージョンを行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室スペースにファクス機能を備えた複写機を市が用意して配置する（番号は継続使用） ・事務室前にソファを 4 つ置く待合スペースを確保すること（40 m²程度）。ソファ（175 cm×65 cm×70 cm）は一色支所から移設 ・コピー用紙置き場を確保すること。（125 cm×35 cm×100 cm程のスペース） ・一色支所から本庁と書類のやりとりをするための棚スペース（本庁便）を移設。（棚のサイズ 170 cm×40 cm×200 cm） ・山本眞輔氏作の銅像を移設すること ・支所利用者のためのキッズスペースを確保すること。（玩具を置くスペースが確保できれば良い） ・更衣室のスペースを確保し、男女ロッカーを一色支所から移設すること ・一色支所機能として貴重品の管理のできる鍵付き金庫を市が設置するためスペースを確保すること ・一色支所機能として、会議室（定員： 	<p>イ) 業務用放送が館内一斉放送になるため、老朽化した機器更新に合わせて最適な放送設備を配置すること</p> <p>●改修（一色支所機能）</p> <p>ア) 一色支所機能の事務室レイアウトについては効率的な市民窓口として最適な企画提案を行うこと。これに合わせて「いっしき市民交流広場（仮称）」の運営スタッフの事務室スペースも確保すること。それを支所機能と隣接することは構わないが、行政情報の秘匿が守られることが条件となる。なお、職員及び運営スタッフが休憩または昼食のため居心地よく過ごせる空間を創出すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館 1 階は来館者への窓口受付が座ってできるようにすること。いっしき市民交流広場（仮称）及び一色支所の分かりやすい看板を設置すること
--	--	--	--	--

			<p>20 人・4 人の 2 室) を設置すること。 (20 人の会議室は貸館を利用でも良い)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一色支所機能として、セキュリティ対策を講じ、1 階に夜間及び休日業務のために警備員室 (夜間窓口) を設置すること (火災受信機を増設) <p>イ) 無線通信室及び機械室 (15 m²程度) は 3 階コンピューター室をパーティションで区切り 24 時間空調を設置すること (無線のデジタル化を予定しているため、H32 以降は現在の無線機器は必要なくなる)</p> <ul style="list-style-type: none"> オンライン関係の電算端末の引込工事と J-ALERT など無線設備の移転や情報系ネットワーク回線の引き込みについては市が行い、市が管理する <p>ウ) 支所機能の事務室スペースには次のものを一色支所から移設し配置する</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話交換器は一色支所で使用している (H24 設置) ものを移設すること。 5 回線必要 証明等発行端末 PC33 台、PR10 台 (戸籍、基幹系、情報系、公図等のシステムで) (PR は 50 cm×40 cm×40 cm : 9 台 100 cm×80 cm×145 cm : 1 台)、事務机 18 個 (105 cm×75 cm×75 cm)、事務椅子 18 脚。窓口用椅子 18 脚 (丸椅子 6 脚、事務用椅子 12 脚)、ローカウンター 6 (150 cm×70 cm×70 cm)、ロッカー 14 (90 cm×40 cm×210 cm : 8 個、40 cm×65 cm×130 cm : 4 個、90 cm×40 cm×90 cm : 1 個、180 cm×45 cm×105 cm : 1 個) ラック類 12 (120 cm×80 cm×130 cm : 4 個、60 cm×70 cm×130 cm : 3 個、80 cm×70 cm×130 cm : 1 個、80 cm×80 cm×70 cm : 3 個、120 cm×80 cm×70 cm : 1 個)、テレビ電話 1 台、圧着機 1 台 (150 cm×90 cm×95 cm) <p>エ) 一色支所機能としての駐車場 (公用車 4 台、職員用 18 台、来庁者 8 台、障害者用 2 台) を確保すること。公民館の駐車場と併用可。平均利用者数は 200 人/日</p>	<p>ウ) 電話交換機は最適な場所に移設すること</p> <p>エ) 一色町公民館に一色支所が、一色健康センターに一色老人福祉センターと子育て支援センターいっしきの機能が移転することによる駐車場不足を解消すること</p>
--	--	--	--	--

			<p>●運営</p> <p>ア) 一色町公民館（茶室・一色地域交流センター含む）及びその外構部分については特別目的会社が「いっしき市民交流広場（仮称）」の包括マネジメント事業として運営すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンタルスペース（貸室）の管理・来館者案内業務・備品物品管理・予約受付業務・利用統計管理・利用料徴収業務・ごみ処理など運営全般を担うこと ・特別目的会社は建物の維持管理警備業務、光熱水費等の支払いなども行う ・利用料については現行の料金制度に準拠したものとする ・社会教育法に縛られない施設とする <p>イ) 特別目的会社は次の事業を行うこと。 生涯学習講座（現状：趣味、料理、教養、語学講座等約 40 講座、延べ 235 回、受講料 1 回 200 円、1 回につき講師料 5,900 円）3 講座程度は佐久島で開催すること</p> <p>ウ) 現行の紙による貸室の予約申込に加えて利便性の高い施設予約システムを導入すること</p> <p>エ) 西尾市教育委員会主宰の不登校生徒指導室「あゆみ学級（指導員 2 人、児童生徒最大 3、4 人程度）」を 2 階の団体研修室 1 へ一色健康センターから機能移転すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体研修室 1 は貸館業務対象外とすること <p>オ) 3 つの公共施設群の名称と本施設の名称をつけること</p>	<p>●運営</p> <p>ア) 公共施設群を集約することにより、一色地区に新たな空間が創造されることとなるため、利用者がワクワクするような企画提案し、利用率の向上を図ること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用時間、利用申込方法は市民の利便性向上に資する提案をすること <p>イ) 生涯学習講座では地元の人気講師の継続を念頭に新たな参加者の開拓と現状の実績以上を目指すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座は「みつけよう 生涯学ぶ喜びを わがまち西尾で」を基本理念とした「西尾市生涯学習推進計画（平成 25 年 4 月策定）」の推進にそくした事業化を行うこと <p>ウ) 利用者の利便性を高める予約システムにより迅速な受付処理事務及び適切な利用料徴収が行える環境を整備し利用率向上を目指すこと</p> <p>オ) いっしき市民交流広場（仮称）の 3 施設群と単一施設の名称については、ネーミングライツ等を活用した市の財政負担軽減につながる提案をすること。ただし、ネーミングライツ等による市の財政負担軽減につながる企画を提案しない場合は別途、市民に愛着が生まれるような施設</p>
--	--	--	---	---

			<p>カ) 独立採算事業（民間サービス）として 飲食機能あるいは喫茶機能を設ける こと</p> <p>●維持</p> <p>ア) 公共施設再配置プロジェクト08のと おり</p> <p>※支所機能はこれまでどおり市が行う ・警備業務については公共施設再配置プロ ジェクト08の中で対応する</p>	<p>名称を提案すること</p>
<p>一色学びの館</p>	<p>●改修・運営・維持</p>		<p>●改修（全館）</p> <p>ア) 空調機器の更新をすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋上（展示棟屋上を除く）の防水補修 及び津波一時退避機能のための手摺り を設置すること ・1階多目的トイレのドアが片手で軽く 開閉できるようにすること ・照明のLED化の比較検討 ・すべてのガラスに飛散防止対策を行う こと <p>●改修（図書館）</p> <p>ア) 図書館の図書の配架及び書棚の配置の 変更及び増設は可能とする</p> <p>●運営（全館）</p> <p>ア) 一色学びの館及びその外構部分につい ては特別目的会社が「いっしき市民交 流広場（仮称）」の包括マネジメント 事業として平成30年度以降に運営す ること</p> <p>イ) 3つの公共施設群の名称と本施設の名 称をつけること</p> <p>●運営（図書館）</p>	<p>●改修（全館）</p> <p>ア) LCCの軽減を図るとともに環境にやさ しい施設としてリノベーションすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災機能を充実させること ・正面駐車場は一色町公民館、一色健康セ ンター、一色保育園との共同利用のため、 駐車場不足の対応が必要である <p>●改修（図書館）</p> <p>ア) 利用者が書籍を検索しやすく、読書に対 する興味がわくような配置とすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段差解消などのバリアフリー化について 提案すること <p>●運営（全館）</p> <p>ア) ネーミングライツ等を活用した市の財政 負担軽減につながる提案をすること。ただ し、ネーミングライツ等による市の財政負 担軽減につながる企画を提案しない場合は 別途、市民に愛着が生まれるような施設名 称を提案すること</p> <p>イ) いっしき市民交流広場（仮称）の3施設 群と単一施設の名称については、ネーミン グライツ等を活用した市の財政負担軽減に つながる提案をすること。ただし、ネーミ ングライツ等による市の財政負担軽減につ ながる企画を提案しない場合は別途、市民 に愛着が生まれるような施設名称を提案す ること</p> <p>●運営（図書館）</p>

いっしき市民交流広場（仮称）
地域文化広場に隣接している3施設群を
利便性の高い新たな公共空間として再生
する包括マネジメントにより生き生きと
元気に暮らすことのできるまちづくりの
出発点につなげていくこと。プロジェク
ト01の「きら市民交流センター（仮称）」
と協調して運営すること

			<p>ア) レンタルスペース（貸室）の管理予約受付業務・来館者案内業務・備品物品管理・利用統計管理・利用料徴収業務・ごみ処理、光熱水費の支払いなど運営全般を担うこと。利用料については一色町公民館を基本とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別目的会社は本館、分館、配本所と連携をとり、図書館業務全般と利用促進業務（おはなし会月5回、映写会月2回、講座年6回、親子タイム月2回など）を行うこと。なお本施設は市立図書館の分館機能を持つこと <p>イ) 現行の図書館システムのソフトはクラウド（使用料）機器は買取であるため、平成30年以降の更新を予定している。それ以降はそのまま継続するかLCCの比較分析において利用者及び図書館運営により利便性の高いシステムの導入も可能とし、管理は特別目的会社とする</p> <p>ウ) 特別目的会社は資料を購入すること。資料登録は市の運用に従うこと</p> <p>エ) プロジェクト04（資料館機能リニューアル事業）一色学びの館部分と整合性を図ること</p> <p>●維持</p> <p>ア) 公共施設再配置プロジェクト08のとおり</p>	<p>ア) 「西尾市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、本と子どもが出会う楽しみや知る喜びを体験できる環境や新たな利用促進策を企画提案すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒトの五感を刺激し大人も楽しめる『絵本館』としての特色を出すこと。2階研修室で開催中のおはなし会が一般利用者にストレスのかからないよう防音策を講じながら1階で開催するようにすること。 ・現行の無料学習室については3施設群の包括マネジメント事業の中で最適な方法を検討すること。 ・おはなし会など各種イベントに関係しているボランティア団体等と連携・協働をして開催すること <p>イ) 本施設以外の図書館が導入しているシステムとのタイムラグがないような連携が確実に保証される利便性の高い図書館システムについて企画提案する</p>
<p>旧海の歴史館</p>	<p>改修・用途変更・維持</p>		<p>●改修・用途変更</p> <p>ア) 一色支所から機能移転する佐久島振興課事務室機能（職員6人：45㎡以上）及び作業場など（20㎡以上）のスペースを確保すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室は1F東側展示スペースを使用する ・電気配線が漏電しており、現在は必要な電気をブレーカーから直結している 	<p>●改修・用途変更</p> <p>ア) 佐久島振興課事務室及び書庫、一般開放スペース（トイレ）、独立採算事業の3者の利用に支障ないスペースや動線を確保したコンバージョンを行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務室はできる限り採光、風通しをよくするように改造すること ・情報機器の配線についてはOAフロア並みに快適に行えるようにすること

			<p>ため、建物配線の点検修繕をすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備、防犯消防設備等の整備を行うこと ・外装についても老朽化対策を行うこと ・一色支所から事務用品(事務机6個(105cm×75cm×75cm)、事務椅子6脚、ロッカー等)を移設すること ・電話回線を敷設すること(現在の番号継続希望) ・事務室スペースにファクス機能を備えた複写機を市が用意して配置する(番号は新規取得) ・事務室として使用する箇所のブラインドの修理、壁紙張替えをすること ・事務室として使用する部屋を仕切り、入口や窓口カウンターを設置すること。事務室は夜間及び休日が無人的なるため、セキュリティ対策を講じること ・情報端末の引込工事と情報系ネットワーク回線の引き込みについては市が行い、市が管理する ・施設入口扉を修理すること ・多目的トイレをシャワートイレに変更すること。男女共に洋便化すること ・休日、夜間等時間外に郵便物を受け取れるポストを設置すること ・施設内に給湯スペースを設置すること <p>イ) 佐久島渡船欠航時におけるしおかぜ通学児童生徒の授業教室用スペースは、授業用室と教師控え室として2室、若しくはパーテーションにより2室に分割可能とし、授業用のホワイトボードを2基設置すること。1室は50㎡程度のスペースとする</p> <p>ウ) 駐車場(公用車2台以上、職員6台以上、来客用2台以上)を確保すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の整備、案内看板設置(施設名称) 	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久島への観光案内や、船の待ち時間で多くの方(若者中心)が訪れることが予想されることから、外観・内装とも、佐久島の現代アートを彷彿とさせるデザインにすること ・佐久島への玄関口と直結するため、観光客の交流の場として空きスペースに飲食機能などの独立採算事業を企画提案すること。独立採算の店舗が入った場合、さかなセンターから利用者が雨で濡れないように、屋根の設置を検討すること ・独立採算事業を行う場合は、道の駅や海の駅になるようなイメージで、一色さかなセンター及び佐久島と相乗効果を狙った企画提案をすること ・現存物品については利用できない物以外については廃棄すること <p>イ) 佐久島渡船欠航時におけるしおかぜ通学児童生徒の授業教室用スペースは、渡船欠航時のため、利用予測不能であり、利用頻度の少ない会議室で構わない。</p>
--	--	--	--	--

			<p>エ) 施設名称は旧名称であるため新しい名称をつけること</p> <p>●維持 ア) 公共施設再配置プロジェクト08のとおりに ※建物の運営管理は市が行う</p>	<p>エ) 名称についてはネーミングライツ等を活用した市の財政負担軽減につながる提案をすること。ただし、ネーミングライツ等による市の財政負担軽減につながる企画を提案しない場合は別途、市民に愛着が生まれるような施設名称を提案すること</p>
<p>対米住宅</p> <p>巨海住宅</p>	<p>●解体・資産運用</p>		<p>●解体 ア) 対米住宅と巨海住宅を解体すること ・解体時の音、匂い、粉じん等の発生を防ぐ対策を特別目的会社の責任において行うこと イ) 対米住宅内に設置している遊具（2方向滑り台、4連ブランコ、2連鉄棒、ジャングルジム、はん登棒、メリーゴーラウンド）を撤去すること</p>	<p>●解体 ア) 解体跡地は更地として安全に配慮すること</p> <p>●資産運用 ア) 生産年齢人口が増加するような定住促進に資する資産運用を企画提案すること</p>

公共施設再配置プロジェクト03 学校教育関係施設の長寿命化事業		プロジェクトの基礎水準		
		吉良中学生の声	機能・構成・デザイン	業務要求水準（性能）
吉良中学校	<p>●改修</p> <p>●維持</p>	<p><吉良中学校の好きなところ> 綺麗になったトイレ、けやき並木、広い運動場、自然いっぱい、3階渡り廊下、わかたけ像</p> <p><吉良中学校の嫌いなところ> 古い窓とその鍵、エレベーターがない、多すぎる階段</p> <p><皆で考える未来の吉良中の姿> 「地元のみんなが安心して利用できる憩いの施設」 ・図書室を図書館に</p>	<p>●改修 ア) A棟、B棟、C棟、渡り廊下、昇降口について次の大規模な改修工事を行うこと</p> <p>【全棟共通】 屋上防水（B・C棟を除く）、外壁面補修及び塗装、電気設備及び機械設備の全面取替（B棟のトイレ改修は不要）、内外建具取替、内装（スクールパーテーション、建具、造付け家具等含む）、屋外設備（給排水管・電気設備等）の全面改</p>	<p>●改修 ア) 学校施設の長寿命化については今後、全国の自治体で求められる事業であり、教育活動を継続しながらの大規模修繕スキームについても注目される事業であるため、学校と地域との関わり方なども視野に入れた提案を求める</p> <p>・本事業は大規模な修繕により、西尾市公共施設再配置実施計画で示した長寿命化に関する考え方にに基づき、建物の目標耐用年数を最長80年とするものである。</p>

		<p>地域からの寄付で 本を増やし、一般開放 図書館カードで コンピューター管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別教室の一般開放 コンピューター室：コンピューター講座、 図書室との合体コンピューターを使った 調べ物 教室：空き教室を受験生のために 自習室 に。平日夜や土日の教室開放 エアコンを設置することで利用率のアップ！ 平日 夜6時～9時、土日 朝9時～夜9時 調理室・料理教室 洋裁室洋裁・和裁教室 理科室・科学実験教室 金工室・木工室： お父さん参加の物作り教室 美術室：絵画 教室 音楽室：ピアノ・楽器教室、吹奏楽 部OB 演奏会 ・体育施設の有効利用 屋内・温水・50mプールを作って、競泳 用・各大会を開催 テニスコートにナイター 設備設置 体育館や運動場の一般開放 体育館をガラス張りにして電気代の節約 ・「お年寄りと女性や子どもに優しい街」 ・巡回バスの停車駅設置、公共交通機関を充 実、独自のシャトルバスなどで高齢者の利 用促進 ・足湯をつくる吉良温泉の湯を利用 畳の部屋を作って食堂としても利用。 メニューは給食！地域の母親→小さい子 のお昼寝場所としても使える ・音楽室：カラオケ教室 ・校舎間にベンチをおいて、1階テラスは憩 いの場として気軽に利用 ・校舎間を屋根でつなぐ雨天対策 ・お年寄りと中学生とのイベントを開催 ゲートボール大会、カラオケ大会、ゲーム コーナー ・毎月「第2日曜」に吉良町バザーを開催 	<p>修、外構（排水側溝、犬走り等建物擦付 け部）の改修</p> <p>【個別】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館のトイレをすべて洋便化すること ・渡り廊下などの段差緩和を講じること ・エレベーター（1基）を小荷物用から 人荷用に取替えること <p>イ）一部の特別教室等（技術室・美術室・ 音楽室・調理室）について、放課後、休 校日等に次の条件で一般開放ができる ように改修すること</p> <p>条件①一般開放する室から、一般開放しな い校舎内への進入ができない構造とす るなど、確実なセキュリティ対策を講じ ること</p> <p>条件②敷地内の動線についても、一般開放 施設利用者の動線が生徒の動線と分離 され、必要以上に学校内に入り込まない ような提案とする</p> <p>条件③一般開放教室の運営については特 別目的会社がプロジェクト 01「多目的 新生涯学習施設」の運営に含めて行うこ と</p> <p>ウ）クラブハウスの改築を行うこと 現状は8室：野球部、ソフトボール部 （女）、ソフトテニス部（男女）、陸上 部短距離（男女）、陸上部長距離（男 女）、器具庫、トイレ</p> <p>エ）敷地全体のデザインの変更がある場合 は現在の駐車場と同等数、職員 60 台、 来客 40 台程度駐車できる駐車スペ ースを敷地内に確保し、整備すること</p> <p>オ）文科省の学校施設環境改善交付金を活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建設後相当年数を経過し、陳腐化してい る当施設について対応すること ・省エネルギーについて配慮した設備とし、 その設備やエネルギー使用状況などにつ いて、未来の西尾市を支える生徒たちが、 興味を持って学べる提案を求めること ・中学生が安全かつ良好な環境で学校生活 が送られることのできる施設整備を行う こと ・学校施設の改修等の工事に際して、教育 活動に支障が出ないようにすること <p>イ）一部の特別教室等については、教育活動 に支障が出ない範囲において、地域住民 とのふれあい交流を図るとともに生涯学 習の一環として有効に活用できるように すること。その一般開放の受付等の管理 については特別目的会社が行う</p> <p>ウ）クラブハウスは部活動利用者が適切に使 用することができる位置などを示した建 築計画とすること</p> <p>エ）一般開放の利用者を含め校内における車 の進入、通行にあたっては生徒等の安全 が確保される駐車場を整備すること</p>
--	--	--	--	---

		<ul style="list-style-type: none"> 安全・衛生対策として、保健室の開放施設のバリアフリー化とエレベーター利用ができるように 2つの案に共通していること 1 商業施設の導入 2 防犯対策 3 駐車場対策 <p><ワークショップ感想より></p> <ul style="list-style-type: none"> どの学校にもない、新しい考え みんなが使いやすく、たくさん学べる空間に デメリットも考えておく必要がある 貴重品の管理 不審者対策 学校なので生徒中心の場所 開放はA・C棟 勉強とふれあいの空間を分ける 利用しやすい安心で安全な場所に 	<p>用する場合に特別目的会社は支援すること</p> <p>カ) 吉良中学校は埋蔵文化財包蔵地に隣接しているため、掘削を伴う工事を行う場合は、事前に市へ埋蔵文化財の所在の照会を行うこと</p> <p>●維持</p> <p>ア) 公共施設再配置プロジェクト08のとおり</p>	<p>(参考) 施設規模等概略</p> <p>主な建物</p> <ul style="list-style-type: none"> (A棟) 管理・特別教室棟 RC3F 3,144 m² (B棟) 教室棟 RC3F 2,875 m² (C棟) 特別教室棟 RC3F 1,474 m² 渡り廊下・昇降口5箇所 RC2F 448 m² 屋内運動場 RC2F 2,392 m² クラブハウス RC1F 216.6 m² <p>主な居室等 (H26 現在)</p> <p>普通教室 19室 (1,397.97 m²)、特別支援教室 2室 (87.03 m²)、特別教室 (図書室、調理室、洋裁室、技術教室 2室、コンピューター室、音楽室 2室、美術室 2室、理科室 3室、各準備室) 25室 (1,844.67 m²)、放送室 (32.63 m²)、保健室 (78.66 m²)、教科資料室 (24.60 m²)、会議室 (68.93 m²)、校長室 (66.08 m²)、視聴覚室 (85.13 m²)、職員室 (174.54 m²)、資料印刷室 (36.60 m²)、進路資料室 (67.65 m²)、生徒会室 (34.50 m²)、染料室 (36.00 m²)、相談室×2室 (60.17 m²)、多目的室×3室 (159.68 m²)、調理室 (130.34 m²)、道徳資料室 (37.50 m²)、農機具庫 (21.84 m²)、特別活動室 (103.50 m²)、技術資料室 (125.01 m²)、総学資料室 (67.50 m²)、図書室 (185.25 m²)、配膳室 (66.33 m²)</p> <p>空調設備を有している室</p> <p>保健室、図書室、職員室、コンピューター室</p>
--	--	--	---	---

		機能・構成・デザイン	業務要求水準 (性能)
<p>寺津小学校 寺津中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●改修 ●維持 	<ul style="list-style-type: none"> ●改修 <p>寺津小学校と寺津中学校の重複機能については一元化を図る</p> <p>【施設一元化】</p> <p>ア) 小中学校の給食室の一元化を行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ドライ方式 最大食数：800食 (通常食数：730食) →寺津小学校 480食・寺津中学校 250食 整備については文科省の定める学校給食衛生管理基準及び西尾市学校給食衛生管理マニュアルなどに準じ衛生面に十分に注意すること 食器等器具・備品については使用できるものは新たに配置する必要はない アレルギー対応は当面、乳と卵とする 給食室の運営は市が行う 	<ul style="list-style-type: none"> ●改修 <p>改修等工事に際して教育活動に支障が出ないようにすること</p> <p>【施設一元化】</p> <p>ア) 給食室の一元化の際に既存施設を利用して計画する場合は、併せて長寿命化を踏まえて検討すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全安心な給食を作成し、安定した供給を継続するために、適切な施設整備を行う アレルギー対応については、乳と卵が最低条件であるが、今後の変化による拡張性を含めた提案を求める 給食の運搬については、屋外を通過することがないようにすること 給食室の一元化工事中は給食を止めないようにすること。 調理器具の配置・作業動線等については、市の配置する栄養士、保健所と調整をはかり機能性・安全性・衛生面等を考慮したも

		<p>イ) 小中学校のプールの一元化を行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や小規模な大会等に対応出来る観覧スペースなどを設置すること ・プールの授業数が維持できるような規模で整備すること <p>【部分改修】</p> <p>ア) 小中学校施設内のすべてのトイレを洋便化すること ただし、次のトイレは除く 寺津小学校：管理・普通教室棟（1F～3F） 寺津中学校：管理教室棟（1F～3F）</p> <p>イ) 小中学校の室内外サッシのすべてのガラスに飛散防止対策を行うこと</p> <p>ウ) 小中学校の室内建具の取替え及びレールの改修を行うこと</p> <p>エ) エレベーター（小中校各 1 基）を小荷物用から人荷用に取替えること</p> <p>オ) 文科省の学校施設環境改善交付金を活用する場合に特別目的会社は支援すること</p> <p>●維持</p> <p>ア) 公共施設再配置プロジェクト 08 のとおり</p> <p>【寺津中学校の県指定遺跡等の取扱いについて】 寺津中学校の校庭の一部（8,456 m²）が県の史跡指定を受けているため、指定地で掘削を伴う工事を行う場合は事前に愛知県との協議が必要となる。 また、寺津小学校・寺津中学校の用地の一部が埋蔵文化財包蔵地となっているため、切削を伴う工事の場合は事前に文化財保護法に基づく手続きが必要となる。</p>	<p>のとすること</p> <p>イ) 学校プールの一元化の際に既存施設を利用して計画する場合は、併せて長寿命化を踏まえて検討すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で適切な小中学校プール授業が運営できるプール機能について整備すること ・整備にあたっては、民間施設の有効利用も視野に検討すること ・学校のプール授業数等を考慮して、適切な規模のプール及びプール関係機能設備を整備すること <p>【部分改修】</p> <p>ア) ブースの変更により便器数が減少する場合も可とする</p> <p>イ) 小中学校の室内外の窓ガラスが、割れや飛散の際に、安全なものとする</p> <p>ウ) 小中学校の各室の出入口について、使用勝手がよく、安全なものとする</p> <p>（参考） 現状のプール設備・授業状況 寺津小学校 25m×6 コース（深いコース）、25m×1×コース（浅いコース）×幅 4m、その他付帯施設 授業 10 時間／年（学習指導要綱に基づく授業構成）、夏休み 10 回（自由参加） 寺津中学校 25m×6 コース、その他付帯施設 授業 10 時間目標／年（学習指導要綱に基づく授業構成）1・2 年必須、3 年選択 職員・児童・生徒数（平成 30 年度予定） 寺津小学校 職員 34 人、1 年生 79 人、2 年生 83 人、3 年生 63 人、4 年生 78 人、5 年生 76 人、6 年生 70 人 寺津中学校 職員 29 人、1 年生 65 人、2 年生 72 人、3 年生 67 人</p>
一色町体育館	<ul style="list-style-type: none"> ●改修 ●維持 	<ul style="list-style-type: none"> ●改修 <p>一色町体育館について次の大規模な改修工事を行うこと</p> <p>ア) 屋根、外壁面補修及び塗装、電気設備及び機械設備の全面取替、内外建具取替、内装（建具、造付け家具等含む）、屋外設備（給排水管・電気設備等）の全面改修、外構（排水側溝、犬走り等建物擦付け部）の改修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●改修 <p>ア) 当事業は、大規模な修繕により、西尾市公共施設再配置実施計画で示した長寿命化に関する考え方に基づき、建物の目標耐用年数を最長 80 年とするものである。また建設後相当年数を経過し、陳腐化している当施設について対応すること</p>

		<p>※市の情報系ネットワーク回線の引き込みについては市が行い、市が管理する</p> <p>イ) アリーナの天井については、天井（非構造部材）について建築基準法現行基準に適合するように改修すること</p> <p>ウ) アリーナ（1F）、柔道場（2F）は床組・下地から撤去の上、改修すること</p> <p>エ) アリーナの床を改修後は次のスポーツができるように整備すること</p> <p>バスケットボール2面（公式試合対応）</p> <p>バレーボール2面（アリーナ半面に練習用のバレーボールコート半面を支柱付きで2面確保すること）</p> <p>バドミントン6面</p> <p>フットサル2面</p> <p>オ) アリーナ舞台への階段（移動式）の設置</p> <p>カ) アリーナ舞台をフローリング化すること</p> <p>キ) 3階卓球場の空調整備を新たに設置すること</p> <p>ク) アリーナで使用する備品収納室 40㎡2室を整備すること</p> <p>ケ) 旧トレーニング室を多目的室 200㎡程度として用途変更する</p> <p>●維持</p> <p>ア) 公共施設再配置プロジェクト08のとおり</p> <p>※改修後の運営については市が行う</p>	<p>・省エネルギーについて配慮した設備とし、その設備やエネルギー使用状況などについて、未来の西尾市を支える子どもたちが、興味を持って学べる提案を求める</p> <p>・現状機能の改修を基本とするが、隣接のB&G体育館との一体的な利用を踏まえて有効活用に資する新たな付加価値について検討し企画提案を行うこと</p> <p>ケ) 多目的室は剣道からエアロビクスなどの軽運動まで使用できるように改修すること</p>
<p>一色B&G海洋センタープール</p>	<p>●解体</p> <p>●企画提案</p>	<p>●解体</p> <p>ア) 一色B&G海洋センタープールを解体すること。解体時の音、匂い、粉じん等の発生を防ぐ対策を特別目的会社の責任において行うこと</p> <p>●企画提案</p> <p>ア) 跡地に新たにプールを建設しない場合</p> <p>グラウンドゴルフ1面・フットサル1面などのスポーツ施設として整備すること。夜間利用のためのナイター設備も設置。運営は市が行う</p> <p>イ) 跡地（跡地以外も可）にプールを建設する場合</p> <p>LCCの比較分析で新設プールが複数の小中学校のプールを</p>	<p>●解体</p> <p>ア) 解体跡地はまず更地として安全に配慮した上で整備を行うこと</p> <p>●企画提案</p> <p>ア) 広大な駐車場を有するスポーツ競技施設に隣接していることのある有利性を活用した新たなスポーツ施設としてのリノベーションをLCCが最も軽減されるプランで提案すること</p> <p>イ) 小中学校の代替機能が検証された場合に建設する新設プールは、公共サービス、独立採算業務（公共サービス）、独立採算</p>

		<p>廃止することの代替機能を担うことが検証できた場合に限りプールを跡地または応募事業者の提案による土地で建設する。新設プールの運営形態は問わない。また、これは学校プール専用ではなく一般利用できるプールとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設プールの要件 25m 8コース（学校4コース・一般4コース程度を想定） 大会等の観覧席を整備すること 水深が変更可能な施設とすること（最小0.5m～最大1.3m） <p>ウ)文科省の学校施設環境改善交付金を活用する場合に特別目的会社は支援すること</p>	<p>事業（民間サービス）のいずれかのうちで最適な設置及び運営形態を選択して提案すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設プールは小中学校のプール授業、部活動を通じた水泳競技の振興及び市民の心身の健全な発達並びに社会体育の振興及び向上を図ることに役立つものとする ・温水化を計画する場合は省エネルギーに配慮する設備とすること
<p>一色学校給食センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●解体 ●企画提案 	<ul style="list-style-type: none"> ●解体 ア) 一色学校給食センターを解体すること。解体時の音、匂い、粉じん等の発生を防ぐ対策を特別目的会社の責任において行うこと ●企画提案 ア) 次の条件に基づく給食センターについて整備、運営すること。なお、土地の選定確保から整備工事期間中まで、排水や騒音など近隣周辺の環境を整備し運営すること <p>【共通事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ドライ方式 ② 最大食数 9,000 食（通常食数 7,800 食） <ul style="list-style-type: none"> →小中学校の配食数は 6,400 食（内予備食数 1,100 食） 小中学校の配食日数は年間 190 日程度。長期休業中（夏・冬・春休み）の給食は不要 →保育園・幼稚園の配食数は 2,600 食（内予備食数 100 食） ・保育園の配食日数は年間 240 日程度 8月13日から15日前後の3日間程度と12月29日から1月3日の給食は不要 ・幼稚園の配食日数は年間 135 日程度（4歳児、5歳児）、年間 125 日程度（3歳児）※行事等で給食数は多少の減あり 長期休業中及び週1回程度の保護者の弁当持参日は給食なし ③ 配食施設は小中学校 14 校、保育園 15 園・幼稚園 3 園 ※食数割合・配送施設の詳細は参考数値参照 ④ 市の職員（4 人）と特別目的会社のスタッフが毎日、打合せを行うためのスペースを確保すること ⑤ 西尾市が現在運営している3つの給食センターで使用している食器の種別・大きさ、配送先の学校・保育園でコンテナ、 	<ul style="list-style-type: none"> ●解体 ア) 一色学校給食センターの解体跡地は、更地として安全に配慮すること ●企画提案 ア) 9,000 食の新設センターに限定するのではなく、現在の吉良学校給食センター、幡豆学校給食センターの有効利用を含めて、企画提案すること。吉良学校給食センター及び幡豆学校給食センターを利用しない場合は、その施設・跡地について、資産運用の企画提案を求める ・給食センターを新設、増改築する場合の敷地については、本事業全ての対象土地から最適なものを選択し、提案すること。ただし、本事業全ての対象土地からの選択が難しい場合は、応募者が自ら土地を選定し提案すること ・安全安心で栄養価が高く、子どもたちが美味しく楽しくする給食を、安定、継続して供給することができる施設を整備し運営すること ・市が設置する栄養士の指示への適切な対応が可能な態勢を構築する ・アレルギー対応については、乳と卵が最低限の条件（保育園の離乳食は小麦を含む）であり、他のアレルギー対応や今後の変化による拡張性を含めた提案を求める。なお、保育園・幼稚園給食については、代替食を含めた提案も可能とする ・打合せを行うスペースは事務室内のテーブルでも可 ・市の配置する栄養士（学校給食）が事務を行うためのスペースは専用とするが、事務室の一角でも良い ・西尾市の未来を担う子どもたちが、食材の生産や給食の加工過

		<p>配送車のピット、エレベーターの大きさなど異なっているため、そのことを把握した上での計画とすること</p> <p>⑥ アレルギー対応は当面、乳、卵とするが、保育園の離乳食については小麦も対応すること</p> <p>⑦ アレルギー対応室を設けることとする</p> <p>⑧ 小中学校と保育園・幼稚園の調理はそれぞれ別に行うこと</p> <p>⑨ 小中学校・保育園・幼稚園の指定する時間及び調理後2時間以内に給食できるよう配送すること</p> <p>⑩ 行事、台風、インフルエンザによる学級閉鎖などにより給食が不要又は変更になる場合には、対応すること</p> <p>⑪ 調理員の雇用については、現在西尾市で雇用している臨時職員を優先すること</p> <p>⑫ 調理器具の配置・作業動線等については、市の配置する栄養士、保健所と調整をはかり機能性・安全性・衛生面等を考慮したものとする</p> <p>⑬ 食器は当初に統一し安全に配慮し適切な更新を行うこと 学校給食：トレイ、皿、お椀大、お椀小、箸、ホーク、スプーン 保育園・幼稚園給食：トレイ、パン皿、ご飯椀、汁物椀、おかず用深皿、はし、スプーン</p> <p>⑭ 建設中及び稼働後の計画的な工事・突発的な不具合等諸事情を問わず、継続して給食の提供を行う態勢を構築する</p> <p>⑮ 食器等の回収及び洗浄、残飯の回収及び処分を行うこと</p> <p>⑯ 災害時には、市の要請がある場合、出来る限り炊き出し等の業務を行うこと。これに係る費用は市が負担するものとする</p> <p>【学校給食の条件】</p> <p>① 文科省の定める学校給食衛生管理基準及び西尾市学校給食衛生管理マニュアルなどに準じ衛生面に十分に注意すること</p> <p>② 特別目的会社が調理、配送する給食は副食のみとする</p> <p>③ 主食と牛乳は市が発注し、各校に配送する</p> <p>④ 市の配置する栄養士が献立を作成し、食材の購入から納入までは市が行い、市の配置する栄養士の指導のもと特別目的会社が調理を行う</p> <p>⑤ 市の配置する栄養士とスムーズな連携が取れるように、特別目的会社は正規社員の栄養士で主任、副主任を配置すること</p> <p>⑥ 市の配置する栄養士等（3人）が毎日事務を行うためのスペース（事務机等を含む）、更衣室（特別目的会社のスタッフと</p>	<p>程、食文化にまで興味を持つことができる仕掛けを求める</p> <p>・保育園・幼稚園給食については、美味しく、楽しくワクワクするような企画・演出を求める</p> <p>●参考数値</p> <p>○現在の学校別食数（1日あたり） 合計約 5,300 食</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>児童生徒</th> <th>職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一色中部小</td> <td>461 食</td> <td>31 食</td> </tr> <tr> <td>一色東部小</td> <td>329 食</td> <td>26 食</td> </tr> <tr> <td>一色西部小</td> <td>322 食</td> <td>27 食</td> </tr> <tr> <td>一色南部小</td> <td>227 食</td> <td>20 食</td> </tr> <tr> <td>一色中学校</td> <td>659 食</td> <td>53 食</td> </tr> <tr> <td>センター職員・調理員</td> <td colspan="2">25 食</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計 2,180 食（一色センター）</td> </tr> <tr> <td>横須賀小</td> <td>423 食</td> <td>36 食</td> </tr> <tr> <td>津平小</td> <td>116 食</td> <td>17 食</td> </tr> <tr> <td>荻原小</td> <td>257 食</td> <td>26 食</td> </tr> <tr> <td>吉田小</td> <td>332 食</td> <td>26 食</td> </tr> <tr> <td>白浜小</td> <td>143 食</td> <td>13 食</td> </tr> <tr> <td>吉良中学校</td> <td>658 食</td> <td>45 食</td> </tr> <tr> <td>センター職員・調理員</td> <td colspan="2">23 食</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計 2,115 食（吉良センター）</td> </tr> <tr> <td>幡豆小</td> <td>380 食</td> <td>31 食</td> </tr> <tr> <td>東幡豆小</td> <td>185 食</td> <td>22 食</td> </tr> <tr> <td>幡豆中学校</td> <td>317 食</td> <td>28 食</td> </tr> <tr> <td>センター職員・調理員</td> <td colspan="2">15 食</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計 978 食（幡豆センター）</td> </tr> <p>○現在の保育園別食数（1日あたり） 合計約 1,800 食</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保育園名</th> <th>園児</th> <th>（内離乳食）</th> <th>職員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一色保育園</td> <td>148</td> <td>(6)</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>一色西部保育園</td> <td>146</td> <td>(0)</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>一色南部保育園</td> <td>99</td> <td>(3)</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>一色東部保育園</td> <td>131</td> <td>(0)</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>一色中部保育園</td> <td>73</td> <td>(0)</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td colspan="4">計 687 食（一色センター）</td> </tr> <tr> <td>横須賀保育園</td> <td>222</td> <td>(3)</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>吉田保育園</td> <td>78</td> <td>(0)</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> </tbody></table>	学校名	児童生徒	職員	一色中部小	461 食	31 食	一色東部小	329 食	26 食	一色西部小	322 食	27 食	一色南部小	227 食	20 食	一色中学校	659 食	53 食	センター職員・調理員	25 食		計 2,180 食（一色センター）			横須賀小	423 食	36 食	津平小	116 食	17 食	荻原小	257 食	26 食	吉田小	332 食	26 食	白浜小	143 食	13 食	吉良中学校	658 食	45 食	センター職員・調理員	23 食		計 2,115 食（吉良センター）			幡豆小	380 食	31 食	東幡豆小	185 食	22 食	幡豆中学校	317 食	28 食	センター職員・調理員	15 食		計 978 食（幡豆センター）			保育園名	園児	（内離乳食）	職員	一色保育園	148	(6)	26	一色西部保育園	146	(0)	21	一色南部保育園	99	(3)	14	一色東部保育園	131	(0)	19	一色中部保育園	73	(0)	10	計 687 食（一色センター）				横須賀保育園	222	(3)	28	吉田保育園	78	(0)	9
学校名	児童生徒	職員																																																																																																				
一色中部小	461 食	31 食																																																																																																				
一色東部小	329 食	26 食																																																																																																				
一色西部小	322 食	27 食																																																																																																				
一色南部小	227 食	20 食																																																																																																				
一色中学校	659 食	53 食																																																																																																				
センター職員・調理員	25 食																																																																																																					
計 2,180 食（一色センター）																																																																																																						
横須賀小	423 食	36 食																																																																																																				
津平小	116 食	17 食																																																																																																				
荻原小	257 食	26 食																																																																																																				
吉田小	332 食	26 食																																																																																																				
白浜小	143 食	13 食																																																																																																				
吉良中学校	658 食	45 食																																																																																																				
センター職員・調理員	23 食																																																																																																					
計 2,115 食（吉良センター）																																																																																																						
幡豆小	380 食	31 食																																																																																																				
東幡豆小	185 食	22 食																																																																																																				
幡豆中学校	317 食	28 食																																																																																																				
センター職員・調理員	15 食																																																																																																					
計 978 食（幡豆センター）																																																																																																						
保育園名	園児	（内離乳食）	職員																																																																																																			
一色保育園	148	(6)	26																																																																																																			
一色西部保育園	146	(0)	21																																																																																																			
一色南部保育園	99	(3)	14																																																																																																			
一色東部保育園	131	(0)	19																																																																																																			
一色中部保育園	73	(0)	10																																																																																																			
計 687 食（一色センター）																																																																																																						
横須賀保育園	222	(3)	28																																																																																																			
吉田保育園	78	(0)	9																																																																																																			

		<p>共有で可)を確保すること</p> <p>⑦ 給食の提供は現行と同じ、食缶に入れて各校へ配送し児童生徒に配膳させる形式とする</p> <p>【保育園・幼稚園給食の条件】</p> <p>① 厚生労働省の定める保育所における食事の提供ガイドライン及び大量調理施設衛生管理マニュアルなどに準じ衛生面に十分に注意すること</p> <p>② 特別目的会社が調理・配送する給食は副食のみとする。ただし、離乳食については主食も含めること</p> <p>③ 主食、飲み物及びおやつは市が発注し、各園に配送する</p> <p>④ 離乳食に対応すること(初期・中期・後期・完了期)</p> <p>⑤ 年齢に応じた食材の切り方とすること</p> <p>⑥ 特別目的会社が食材等を発注する。発注については地産地消で、地元業者を優先し、安全安心でかつ安定的な食材等の購入を行うこと。また、発注内容と発注先については市の栄養士の確認を得ること</p> <p>⑦ 特別目的会社は健康増進法第21条に基づき園担当の栄養士(栄養士業務に支障がなければ、調理業務兼務可)を配置し、幼児食・離乳食・アレルギー食の献立を作成すること。作成後は、前々月の20日までに市の栄養士に提出し、調整を行い、必要な場合は修正等に応じること</p> <p>⑧ 給食の提供は現行と同じ、食缶に入れて各園の配膳室まで配送する</p> <p>⑨ 新たに配送先となる3つの幼稚園は現在、配送車用の搬入口がないため、必要に応じてスロープの設置など簡易な改修で対応すること</p> <p>⑩ 特別目的会社が作成する献立表のソフトとそのデータがおやつ献立を作成に必要なため、それらを市と共有すること</p> <p>⑪ 構造改革特区における「公立保育所における給食の外部搬入方式の容認事業」に対応するため、特区申請について市に協力すること</p> <p>イ)文科省の学校施設環境改善交付金を活用する場合に特別目的会社は支援すること</p>	<table border="0"> <tr> <td>白浜保育園</td> <td>95</td> <td>(6)</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>離島保育園</td> <td>66</td> <td>(0)</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>津平保育園</td> <td>82</td> <td>(3)</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>荻原保育園</td> <td>117</td> <td>(0)</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計 758 食 (吉良センター)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>東幡豆保育園</td> <td>91</td> <td>(0)</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>幡豆保育園</td> <td>92</td> <td>(3)</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>見影保育園</td> <td>73</td> <td>(0)</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>鳥羽保育園</td> <td>42</td> <td>(0)</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>計 347 食 (幡豆センター)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">○幼稚園の給食配食数：700食 (H30年度見込み)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">園別食数 (1日あたり)</td> </tr> <tr> <td>保育園名</td> <td>3園児</td> <td>4・5歳児</td> <td>職員</td> </tr> <tr> <td>西尾幼稚園</td> <td>50</td> <td>120</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>鶴城幼稚園</td> <td>75</td> <td>150</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>平坂幼稚園</td> <td>75</td> <td>150</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>計 680 食</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	白浜保育園	95	(6)	21	離島保育園	66	(0)	12	津平保育園	82	(3)	15	荻原保育園	117	(0)	13	計 758 食 (吉良センター)				東幡豆保育園	91	(0)	15	幡豆保育園	92	(3)	14	見影保育園	73	(0)	11	鳥羽保育園	42	(0)	9	計 347 食 (幡豆センター)				○幼稚園の給食配食数：700食 (H30年度見込み)				園別食数 (1日あたり)				保育園名	3園児	4・5歳児	職員	西尾幼稚園	50	120	20	鶴城幼稚園	75	150	20	平坂幼稚園	75	150	20	計 680 食			
白浜保育園	95	(6)	21																																																																				
離島保育園	66	(0)	12																																																																				
津平保育園	82	(3)	15																																																																				
荻原保育園	117	(0)	13																																																																				
計 758 食 (吉良センター)																																																																							
東幡豆保育園	91	(0)	15																																																																				
幡豆保育園	92	(3)	14																																																																				
見影保育園	73	(0)	11																																																																				
鳥羽保育園	42	(0)	9																																																																				
計 347 食 (幡豆センター)																																																																							
○幼稚園の給食配食数：700食 (H30年度見込み)																																																																							
園別食数 (1日あたり)																																																																							
保育園名	3園児	4・5歳児	職員																																																																				
西尾幼稚園	50	120	20																																																																				
鶴城幼稚園	75	150	20																																																																				
平坂幼稚園	75	150	20																																																																				
計 680 食																																																																							

公共施設再配置プロジェクト 04 資料館機能 リニューアル事業		プロジェクトの基礎水準	
		機能・構成・デザイン	業務要求水準（性能）
資料館（歴史公園内）	改修・運営・維持	<p>●改修</p> <p>ア) 建物内装の更新を図ること。展示ケースについてはリニューアルと合わせて更新可とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備の更新を図ること ・照明のLED化の比較検討 <p>●運営</p> <p>ア) 西尾城のガイダンス施設として特別目的会社が運営すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者案内業務、備品物品管理、利用統計管理、ごみ処理など運営全般を担うこと。ただし、利用料は現行どおり無料とする <p>イ) 西尾の歴史と文化を語ることのできる企画展示コーナーを設けること。企画展示コーナーは最低年4回以上で、そのうち市が1回程度開催する</p> <p>ウ) 地下収蔵庫は市が直接管理する</p> <p>エ) 資料館事務室に隣接している御剣八幡宮の自動火災報知設備の受信機があるが、これも特別目的会社が対応すること</p> <p>●維持</p> <p>ア) 公共施設再配置プロジェクト08のとおり</p>	<p>●改修</p> <p>ア) 本市の将来像は「自然と文化と人々がとけあい 心豊かに暮らせるまち西尾」。郷土の歴史や文化に対して市民が愛着と誇りがもてるように、利用しやすい文化交流・歴史学習の拠点としての再整備を行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LCCの軽減を図るとともに環境にやさしい施設として再生すること <p>●運営</p> <p>ア) 施設展示中心から脱却し、ICTなどを駆使した情報発信力を高めるためにハード面とソフト面から市域全体の歴史文化の発信方法の効果的なリニューアルを図ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな学習ニーズに応えるための企画展を充実し、他の歴史文化施設との連携を図るなど、分かりやすく公開すること <p>イ) 基本は無料展示だが、場合によっては有料展示企画により魅力ある資料館を目指すこと</p>
一色学びの館 （展示室棟）	改修・運営・維持	<p>●改修</p> <p>ア) 展示コーナー（特別展示室含む）のリニューアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示棟の入館者数を確認できるようにすること ・照明のLED化の比較検討 <p>●運営</p> <p>ア) 一色学びの館（展示棟）及びその外構部分については、一色の大提灯を中心とした西尾の伝統的な祭礼芸能と海の習俗を中心に据えた展示施設として、平成30年度以降に特別目的会社が図書館機能と合わせて「いっしき市民交流広場（仮称）」の包括マネジメント事業として運営すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展示室及び収蔵庫の管理、来館者案内業務、備品物品管理、利用統計管理、ごみ処理など運営全般を担うこと。ただ 	<p>●改修</p> <p>ア) 吉良歴史民俗資料館と幡豆歴史民俗歴史資料館の展示物を含めて西尾の伝統的な祭礼芸能と海の習俗が分かりやすく見られるような空間を創造すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LCCの軽減を図るとともに環境にやさしい施設として再生すること <p>●運営</p> <p>ア) 施設展示中心から脱却し、ICTなどを駆使した情報発信力を高めるためにハード面とソフト面から市域全体の歴史文化の発信方法を効果的なリニューアルを図ること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな学習ニーズに応えるための企画展を充実し、他の歴史文化施設との連携を図るなど、分かりやすく公開すること ・施設の特色を活かした図書館機能と一体となった運営管理を行うこと。特別展示室の利用向上を図ること

		し、入館料は現行どおり無料とする ・西尾の伝統的な祭礼芸能と海の習俗についての企画展示コーナーは最低年4回以上で、そのうち市が1回程度開催する ●維持 ア) 公共施設再配置プロジェクト08のとおり	
吉良歴史民俗資料館	用途変更	●用途変更 ア) 一色学びの館に移動させる展示資料以外を整理して収蔵するスペースとして活用する。収蔵資料は市が管理する イ) 平成28年度オープン予定の併設の塩田体験施設との整合性を図ること	●用途変更 ア) 夜間及び休館日は無人施設となるためセキュリティに万全を期すこと
幡豆歴史民俗資料館	用途変更	●用途変更 ア) 一色学びの館に移動させる展示資料以外を整理して収蔵するスペースとして活用する。収蔵資料は市が管理する。	●用途変更 ア) 常時無人施設となるためセキュリティに万全を期すこと

公共施設再配置プロジェクト08 公共施設包括マネジメント事業		プロジェクトの基礎水準	
		機能・構成・デザイン	業務要求水準（性能）
行政施設（8施設）	光熱水費の最適化 （ESCO事業を含む）、法定・保守点検、施設維持管理マニュアルの作成	●建物・外構維持管理等 ア) 対象施設（添付資料2参照）について、適切な維持管理を実施し、報告すること ・点検等に伴い関係省庁等への報告が必要な場合は併せて行うこと ・業務の実施に伴い発生した廃棄物については、特別目的会社の負担で処理すること ・業務で使用するガソリン、薬品、その他の危険物の取扱いは、関係法令等に遵守し、特別目的会社の負担によること ・特別目的会社が持ち込む資機材は、原則として毎日持ち帰るものとするが、複数日にわたる場合にあつて、施設管理者の承諾を得た場合に限り残置することができる。なお、残置資機材の管理は、特別目的会社の責任において行い、安全管理を行うこと ●維持管理マニュアル イ) 包括マネジメントのメリットの1つでもある全体的な把握の中で、適切に維持管理することを目的として、施設の状態・特性等を考慮し、施設ごとに維持管理の水準を明確にしたマニュアルを事業契約後、3年以内に作成する	●建物・外構維持管理等 ア) 各施設の現状の維持管理・保守点検状況及び利用状況等を把握し、各施設に適切な維持管理のための業務条件（点検回数・状態等）を提案すること ・各施設の保守点検等の状況や報告が随時、特別目的会社と市で共有できる仕組みを提案すること ・施設の維持管理業務について、スケールメリットを活かした包括マネジメントを実施すること ・保守点検業務に関する必要な知識及び技能を有する者を配置し、長期的かつ効果的に実施すること ・地元人材や法人の活用により、地域経済に寄与することで、未来の人材育成を図ること。特に高齢者や障がい者の就労をその能力に応じて促進すること ・リスクマネジメントの観点から異常時や緊急時の対応策を提案すること ●維持管理マニュアル イ) 施設単体だけでなく、維持管理業務種別毎に施設を横並びに比較でき、施設の状態が確認できる状態を構築する ・市の現状を踏まえ、今後発生する課題についての的確に把握する仕組みを構築し、継続的な解決策を見出せるマニュアルとすること ・作成する維持管理マニュアルは、ICTの活用によりオンデマ
消防施設（8施設）			
学校教育施設（42施設）			
社会教育施設（14施設）			
文化施設（14施設）			
スポーツ・レクリエーション施設（7施設）			
子育て支援施設（30施設）			
社会福祉施設（2施設）			
高齢者福祉施設（16施設）			
医療保健施設（3施設）			
市営住宅（14施設）			
斎場（1施設）			
その他（1施設）			
※対象施設の詳細は添付資料2参照			

		<p>●ESCO事業</p> <p>ウ) 対象施設の中で、効果のある5施設について提案し、実施すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ESCO実施時には、エネルギー使用等について、協議の上、特別目的会社に支払うものとする 	<p>ンド性を有し、継続的な更新が可能なものとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約期間中、変化等に迅速に対応できる仕組みを備えること <p>●ESCO事業</p> <p>ウ) 長期契約のメリットを最大限に活かし、省エネルギーに関する包括的な事業とし、ESCO事業として最適な技術提案を行うものとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者は、省エネルギー診断に基づく改修計画を立案し、施設にとって最適な省エネルギー技術を事業者自らのリスクにおいて提案し、実施するものとする ・現在要している市のエネルギーコストが、契約期間中にわたって最適化され、効果を最大限にする実現的な提案をすること
--	--	--	---

第9章 その他

1 秘密の保持等

本業務の実施にて知り得た個人情報等について、漏洩、滅失等の防止に努め、個人情報等の適正な管理に必要な対策及び措置を講ずるものとする。

2 本書に関する市の担当窓口（問合先）

- (1) 担当部署 : 西尾市 総務部 資産経営課
- (2) 住所 : 〒445-8501 愛知県西尾市寄住町下田22番地
- (3) 電話番号 : 0563-65-2156 (直通)
- (4) ファクス : 0563-57-1321
- (5) 電子メール : saihaichi@city.nishio.lg.jp
- (6) URL : <http://www.city.nishio.aichi.jp/>

3 業務要求水準書に係る添付書類等

- (1) 参考資料 : 市民ワークショップ「にしお未来まちづくり塾」の振返記録（全7回分 + 番外編）
- (2) 添付資料 1 : 吉良支所（車庫・書庫）の倉庫区画割当平面予定図
- (3) 添付資料 2 : 公共施設包括マネジメント事業の対象施設（160施設）及び現状の維持管理業務一覧表